

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（592）
2. 日時：令和5年11月30日 11時00分～12時25分※一時中断  
13時30分～15時55分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、宮本上席安全審査官※、  
秋本主任安全審査官※、熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、  
小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与  
技術基盤グループ 地震・津波研究部門  
大橋副主任技術研究調査官、石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他11名

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

## 6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（漂流物））
- （2）泊発電所3号炉 耐津波設計方針に係る指摘事項回答（令和5年11月27日提出）
- （3）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 35）  
（令和5年11月27日提出）
- （4）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）比較表 第5条 津波による損傷の防止（DB05-9 r. 3. 1）（令和5年11月27日提出）
- （5）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））（令和5年11月27日提出）
- （6）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））（令和5年11月27日提出）
- （7）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損

- 傷の防止（引き波評価）（令和5年11月27日提出）
- （8）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（津波監視））（令和5年11月27日提出）
  - （9）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（貯留堰））（令和5年11月27日提出）
  - （10）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備）1. 1. 3 耐津波設計方針の基本方針【40条】（SA 40 r. 3. 0）（令和5年11月27日提出）
  - （11）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備）比較表 1. 1. 3 耐津波設計方針の基本方針【40条】（SA 40-9 r. 3. 0）（令和5年11月27日提出）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁藤原ですそれでは時間になりましたのでヒアリングを始めたと思います。泊発電所3号炉の第五条のまとめ資料のうち、漂流物、
0:00:12	に関する説明、こちらの方について、事業者の方から説明してください。
0:00:18	はい北海道電力の高橋です。本日は泊発電所の五条第津波設計方針の漂流物に関するご説明をさせていただきたいというふうに思っております。
0:00:32	まずは漂流物に関しましては今回、流向流速ベクトルの解析結果が出てますので、そういったところを中心にまとめ資料を用いてご説明をさせていただいたので、
0:00:45	後に、米、
0:00:48	都会とはなしの方がいいですね。はい規制庁藤原ですけども今日まとめ資料のみにしてください。で、藤氏、資料1の何ていうか、市の
0:01:01	2、2で示されてるコメント回答については、数事実確認がまだ終わらないままにそのコメント回答をされても、正直中身がよくわからない状況にありますので、
0:01:13	まずはそのまとめ資料に関して、はい。説明と、話を聞きます。わかりました。その上で多分おそらく今回の話、
0:01:23	事実確認を踏まえてこの会合資料の内容は多分、きちっとまたもう1回見直してあろうかと思うので。はい。それでよろしいですか。はい。
0:01:32	はい。そういった意味でまとめ資料1-2の309ページから始まります漂流物関係に関しましてですね、ご説明させていただきたいと思います。
0:01:43	それではアライの方からご説明させていただきます。
0:01:48	北海道電力の荒井でございます。今回冊説明させていただく内容につきましてまず説明させていただきます。まず平面2次元解析による流向流速分布それから軌跡解析の結果についてご説明させていただきます。その後、解析結果を踏まえて設定した調査範囲の算定結果、
0:02:05	こちらにつきましては、先行して保守的に設定していた調査範囲の妥当性について説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:12	またそのあとにこれまでに調査範囲で抽出した設備内容及び漂流する可能性までの評価においては、これまでにご説明済みでございますので、活動到達、それから取水口閉塞の可能性を評価した結果をお示ししまして、
0:02:27	漂流物による取水性への影響評価についてご説明させていただきます。
0:02:31	今回の説明に際しましては、燃料という操船を含めた敷地内、海域の船舶につきましては、燃料という組成の対策案に合わせてご説明させていただく予定です。
0:02:42	それは資料1-2を用いまして説明させていただきます。
0:02:46	ページ、309ページ、よろしくお願いいたします。
0:02:53	こちらの方で検討対象施設設備の抽出範囲の設定をさせていただいて、②番、下側になりますけれども、敷地及び敷地周辺に來襲する津波の特性の把握として、
0:03:06	基準津波、全18ケースに加えされる足に着目したケース全2ケースの波源、断層幅と周期の関係、海底地形、最大水位上昇量、ループト最大流速分布及び水位変動流向ベクトル、
0:03:20	を踏まえた特性を、考察してございます。考察の概要につきましては、303、13ページの方へお願いいたします。
0:03:33	こちら考察五つございまして、aポツで記載されてる箇所になってございます。まず一つ目ですが、日本海島縁部に想定される地震による津波の周期、こちらにつきましてはプレート間地震による津波クラブ短い傾向にございまして、
0:03:48	流向は最大でも6班程度で判定している状況でございます。
0:03:52	二つ目としましては基準津波は、海底地形の影響を受けましてまず波源域から、
0:03:57	直接到達する津波、それから発電所南側の岩内古川から岩根側から、反射は北川積丹半島北西部から伝播した津波が泊発電所に到達いたします。
0:04:09	三つ目といたしましては北防波堤先端部で流速が速くなる傾向が見られまして、北防波堤が損傷していない波源B、こちらは防波堤損傷なし波源D。
0:04:20	防波堤総称なしと南防波堤損傷は元伊井

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:24	エミナゴはて損傷波源G、南防波堤損傷は原形、防波堤損傷なしとミナミを超えて損傷なしのリスクが比較的早い考察替えられてございます。
0:04:35	四つ目といたしましては基準津波等の流速は発電所沖合よりも沿岸付近の方が速くなる傾向が確認されてございます。最後で、発電所、
0:04:45	保険について防波堤の有無による基準津波等の流速への有意なへん提供がないことが確認されてございます。
0:04:53	続きまして軌跡解析についてご説明させていただきます。341 ページ、お願いいたします。
0:05:05	こちらでは鶴見の平面 20 円解析から求まる流向及び流速により、仮想的な、浮遊物がたどる経路を確認する、規制解析を実施してございます。
0:05:15	仮想的な浮遊物の移動開始位置につきましては次のページ 342 ページに示してございまして、敷地前面の 12 ヶ所、それから周辺漁港の位置や漁港の方法等を考慮しまして、8 ヶ所、計 20 ヶ所で設定してございます。
0:05:32	こちらの軌跡解析を行いました結果が、次の 343 ページから続きまして
0:05:40	記載してございます。
0:05:44	こちらの結果につきましては
0:05:47	ページ戻っていただきまして 341 ページのところに記載してございます。
0:05:52	真ん中の方に記載されておりますポツが、今回の確認結果でございまして、敷地から 5 キロ、及びフナノキロの地点につきましては初期位置からほとんど移動しないことが確認されてございます。
0:06:05	ワタヒキササキオオノ支店におきましては比較的大きく移動する軌跡が認められましたが、いずれも敷地に継続的に移動する五木セキではないことを確認してございます。
0:06:15	また敷地から 1 キロの地点におきましては軌跡がご案内を通過する場が確認されてございます。
0:06:21	また、周辺漁港の地点は比較的大きく誘導する軌跡がありましたが敷地に継続的に移動する軌跡ではないことが確認されてござい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ます。また国道 229 号線の時点におきましては初期位置からほとんどイイダしないことが確認されてございます。
0:06:36	軌跡解析の説明としては以上です。続きまして検討対象施設設備の抽出範囲の設定についてご説明させていただきます。ページ数 363 ページをお願いいたします。
0:06:54	こちらでは、漂流物の調査範囲についてこれまで保守的 7 キロとしてお示しさせていただいてございましたが、今回解析結果から獲られた津波の特性を考慮しまして、愛知基準津波による漂流物の移動量を算出し、調査範囲を設定、及び、
0:07:09	設定した 7 キロが包絡されていることを確認してございます。
0:07:13	漂流物の抽出における津波としては、基準津波の策定で考慮し、津波のうち、流速が最も大きいと考える波源系こちら防波堤損傷なしで代表させていただきます。
0:07:24	水位上昇から、収束傾向になる時間体である地震発生から 10 分から 70 分の範囲を検討対象としています。
0:07:33	査定にあたっては津波の流向が発電所に向かっているときに、漂流物が発電所に接近すると考えまして各地点で、流向が発電所に向かっている時の最大流速、それから継続時間を、
0:07:45	かけまして、こちらから漂流物の移動量を算出してございます。
0:07:50	発電所向かう流向が継続してる間にも流速が刻々と変化してございますが、アンゼンガワニ最大流速が継続しているものとして想定してございます。またアベ側の想定として、引き続き引き波による反対方向の流れを考慮せず、隣り合う押し波、ニワ分が最大流速で一定方向に流れるものとして評価を行ってございます。
0:08:13	その評価においては、
0:08:15	波源系、防波堤損傷なしにおいて色調項目、流速が最大となる地点地点の 13 番。
0:08:23	評価対象としてございます。
0:08:25	また、港湾内においては防波堤の有無に、有意な影響が見られなかったことから 3 キロ 5 キロ、7 キロ地点でにおいては除外してございます。
0:08:34	また波源系防波堤損傷なしにおける 1 キロ圏内の地点のうち発電所方向に向かう軌跡が見受けられた地点 2、3、4 番を対象としています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:44	移動量は、Ⅱのページ、364 ページの方に記載してございましてこちらの式を用いまして、作成しております。
0:08:54	以上の条件において各小抽出支店の漂流物の移動量評価してございます。評価の結果なんですけど、申し訳ございません、こちら合計がございまして、
0:09:05	抽出して、1.1 と書かれてございましてが地点、2 番の間違いでございまして。大変申し訳ございません。また、移動量の数値につきましても、誤りがございまして、こちら 3.3 キロと。
0:09:16	記載してございましてが、4.6 キロの誤りでございまして。大変申し訳ございません。
0:09:24	こちらを抽出してるような内容につきましては、
0:09:30	370
0:09:32	5 ページの方に 1. 2 番の方、記載してございまして。隣り合うは形として、回り 4 番、それから⑤番の移動量を算出し、
0:09:42	加えたものが 4.6 キロメートルとなっております。
0:09:52	規制庁します。ちょっと意味がわかんなかったねと。
0:09:59	364 ページで 3.3 の 5 期が 4.6 でした。で、4.6 の根拠が今 375 で、④と⑤を足した数字、④と⑤で、何かどっか、
0:10:12	意味があるんでしたっけ。ごめんなさいね。これどういう意味ですかね。
0:10:17	はい。隣り合う波に歯分を、
0:10:22	加えてるこものでございまして、基準津波の水の移動量として 010203 を十分から 70 分の間の部分で
0:10:32	波を抽出してございまして。隣り合う波につきまして、④番⑤番の移動量、
0:10:39	こちらを足してるものですね。例えば、①番②番②番③は③番④番④番⑤番、⑤番⑥番というように足していきまして、最大となるもの、そして④番⑤番。
0:10:53	こちら④番が 2.9 キロ、それから⑤番が 1.7 キロで、足した数字としまして、4.6 キロが最大となることから、その数値を調査範囲として設定してございまして。
0:11:06	ごめんなさい。なんか今、説明の、363 と 362 と、その辺で書いてましたっけ。ごめんなさい。ちょっとよくわかんなかったんで。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:20	赤池ナカイじゃないでしょうちょっと説明続けてもらいますけど、中には書いてませんが、はい、じゃあ、じゃあ、説明続けましょうか。はい。
0:11:29	はい。
0:11:31	はい。では説明続けさせていただきます。軌跡解析、すみません。地質範囲の設定につきましては以上でございまして次に取水性に与える影響の評価についてご説明させていただきます。
0:11:46	394 ページお願いいたします。
0:11:56	こちら、人工構造物、こちら発電所敷地内における人工構造物の調査結果を示してございます。調査分類Aでございまして、これまでの説明敷地内の人工構造物の抽出及び漂流する可能性に関する評価までご説明させていただいてございます。
0:12:14	今回説明させていただくのはそれ以降の評価、活動評価、それから到達の可能性、それから閉塞の可能性について評価結果を示してございます。
0:12:25	394 ページから評価結果を記載してございまして、こん中からオダ等として
0:12:31	建物関係それから敷地内車両についてご説明させていただきます。
0:12:35	まず、建物関係についてですが初めにRC構造である、3号炉放水コウモニター建屋と、
0:12:43	こちらにつきましては、比重より漂流物とはならないことを評価してございます。また、活動については、東北地方太平洋沖地震に伴う津波の事例で、4階建てのRC構造が約70メートル移動したことの報告があることを踏まえまして活動するものとして評価してございます。
0:12:59	正しい評価としましては、増設の可能性といたしましては活動するものの、直接基礎であることから、活動しにくいと考えられること、それから取水口は発電所港湾内に比べ、約6メートル、高い位置にあることから到達しないと評価してございます。
0:13:14	次に、木造建物についてご説明させていただきます。木造建物のものとしまして、しましては、シャツ修営所本館棟がござい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:24	こちらについては、地震または津波波力によって当該施設は損傷すると考えられます。東北地方太平洋沖地震に伴う被津波被害の実績でも、
0:13:34	浸水高さ2メートルから木造の建物被害構造、構造被害が発生してございます。
0:13:41	また津波工学研究所研究報告によると、
0:13:44	木造建物は津波波高2メートルを超える津波が到達すると、全壊すると、整理されていることから、建物形状を維持したまま漂流物とはなりません、木材角材等については、
0:13:56	これはカセ漂流物となると評価してございます。
0:13:59	ただし、想定している瓦れきは軽量物でございまして、数名に付与することから、取水口を閉塞することはないと評価してございます。
0:14:08	次に鉄骨構造である淡水取水設備中排水槽屋根等につきましては、こちらの比重の関係より漂流物にならないと評価してございます。
0:14:18	また、活動につきましては、施設本体が鉄骨でございまして津波波力を受けにくい構造であること、それからあと福地法体系オオキ地震伴う凶面漂流物の実績でもってこそ、建物本体が、
0:14:30	ひよかつ漂流していないことから、活動しないと評価してございます。
0:14:35	建物は以上でございまして続いて、車両についてご説明させていただきます。
0:14:39	車両のうち、巡視点検車両等につきましては、地震または津波波力を受けた後、ナイフが保持されるため、こちらの内部を含めた比重を、改正の1、
0:14:50	比較しまして、下回っていることから、秤量しとなると評価してございます。
0:14:55	ただし、取水口前面と土佐ツシマ、取水口の集水面積の方が十分大きいことから閉塞には至らないと評価してございます。
0:15:04	続いて車両系中期及び燃料というソーシャルにつきましては、こちらの地震または凶面波力を受けたもの、あと内部を保持されるためにナイフを含めた当該
0:15:14	設備費を算出してございますが、こちらは比重は、海水より上回るため、漂流物にならないと評価してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:22	また活動については、車両が地盤等に固定されていないことも踏まえて活動すると評価してございます。ただし、到達する可能性につきましては、活動するものの、取水口、
0:15:33	発電所港湾内に比べ約6メートル高い位置にあることから到達しないと評価してございます。
0:15:39	またハウジョウで前面に位置していた、有効に使うルート、それから駐車場につきましてはハウジョウで区画内に整備することとし、車両が漂流するとならない配置としてございます。
0:15:50	続きまして調査分類B。
0:15:52	お願いいたします。
0:15:55	こちらにつきましては、ページ数、
0:15:59	427ページお願いいたします。
0:16:10	調査分類Bですがこちらにつきましても調査分類A同様、活動評価以降の評価についてご説明させていただきます。車両につきましては、敷地外、
0:16:22	の車両といたしまして国道229号線を含めた、発電所周辺500メートル以内の範囲内を通る道路箇所における、
0:16:30	基準津波の流向流速ベクトル及び軌跡解析より発電所に対して、連続的な中ではなく施設護岸、
0:16:37	及び高案内に投資しないと評価してございます。
0:16:41	その他の説明につきましても、同様に、基準津波の流向流速を踏まえますと、流れが短時間の上に、短時間の間に変化することから、
0:16:51	同様に到達するものと、飛ばしないと評価してございます。
0:16:57	続きまして、調査分類Cの方をお願いいたします。こちら、敷地外、
0:17:02	海上に設置された人工構造物。
0:17:06	になってございます。
0:17:08	ページ数で言うと437ページお願いいたします。
0:17:18	こちらにつきましてはV及びはコウ系統については、主要材料の基準により評価しないと評価することで、評価、漂流しないと評価してございます。
0:17:26	また、一部上部の材料が漂流失明浮遊する可能性があるものを、修正コウ併走することはないと評価してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:34	また平仄施設や定置網等につきましても秤量はするんですが、スミエに付与することから取水口を閉塞することはないと評価してございます。いずれにおいても漂流漂流もしくは漂流したとしても、
0:17:46	借り貸し種、取水口を閉塞するものはないと評価してございます。
0:17:52	続きまして船舶の評価に移らせていただきます。調査分類Dの方で、
0:18:01	ページ番号 458 ページをお願いいたします。
0:18:08	船舶の調査結果なんですが、先ほど冒頭でご説明した通り、敷地内の海域の船舶につきましては、燃料という創生の対応策を策定後にご説明させていただきます。
0:18:23	そのため、今回説明させていただくのは発電所敷地外海域の船舶についてご説明させていただきます。
0:18:30	停泊もしくは陸上保管されている漁船につきましては経理柵により係留または陸上に保管されていますが、Zoomは訓練等により、係留索が破損することで漂流物となる可能性がございます。
0:18:43	投資基準津波の流向流速に基づく軌跡解析より発電所に対して、連続的な流れがないことから、発電所に到達する可能性は小さいと評価してございます。
0:18:53	発電所 500 メーター以内で操業する、または広報する漁船及び、500 メートル以遠で、操業方向する漁船につきましては、大津波警報時には、沖合に退避するものと考えられますが、こうふうになることを想定し、漂流物となる可能性があるかと評価してございます。
0:19:11	ただし、基準津波の流向流速に基づく軌跡解析によりまして発電所に対して、連続的な流れがないことから発電所に到達する可能性は十分に小さいと評価してございます。
0:19:24	また、発電所前面海域を航行する船舶につきましては海上保安庁等の聞き取り調査等により発電所から 2.5 キロ以上離れたお客をコウするプレジャーボート等ございますが、
0:19:36	こちらにつきましても、500 メーター以遠同様 2.5 キロ、
0:19:40	支援を航行する方向、船舶につきましても、基準津波の流向流速に基づく軌跡解析より、
0:19:49	発電所に到達する可能性は十分小さいと評価してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:57	これらを踏まえまして漂流物に対する取水性への影響評価のまとめをしてございます。ページ数 465 ページ、お願いいたします。
0:20:15	これらの検討結果を踏まえまして、基準津波により漂流物となる可能性がある施設設備について、漂流する可能性それから到達する可能性、閉塞する可能性について評価してございまして、原子炉補機冷却海水系、
0:20:29	の取水性確保に影響を及ぼさないことを確認してございます。
0:20:35	なお複数の漂流物が同時に漂流しないことを確認する必要がありますが、こちらにつきましては津波を留保津波自体が流向を有していることから、漂流物がすべて取水口前面に、
0:20:46	到達する可能性は低いと考えてございます。
0:20:49	また万一漂流物のすべてが取水口前面に集約された場合を想定しましても、距離物が隙間なく設定するとは考えにくく、また、漂流物の形状から遂行に密着するということが考えに、
0:21:02	と考えてございます。取水口完全に閉塞することはないと考えられるため、こちらについても
0:21:08	原子炉補機冷却海水ポンプの取水性の影響は及ぼさないと考えてございます。
0:21:14	またこれらの漂流物が設置されている場所につきましては広範囲に分散されているため、使用量物が同時に取水口前面に到達する可能性はないと考えてございます。
0:21:24	津波来襲時、来週 5 中止点検等による取水口が設置されている構内海域に漂流物が確認された場合におきましては必要に応じて漂流物を適用する方針であることから、
0:21:35	海水ポンプの姿勢が可能であると考えてございます。
0:21:39	続きまして防潮庭等に対する漂流物の選定についてご説明させていただきます。
0:21:46	漂流物も申し上げました。
0:21:51	漂流物による影響としては取水性への影響のほかに津波防護施設等にショートする。
0:21:57	ことによる影響がございまして 3 号炉における増影響考慮すべき津波防護施設としては、基準津波が到達する範囲に設置される防潮でそれから貯留堰がございまして。
0:22:08	影響評価を行う対象漂流物としましては、緊急退避ができない可能性がある作業線及び公表メーター以内で操業する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:16	及び、航行する拠点といたします。
0:22:19	また、防潮庭等から 500 メーター以遠で操業する。
0:22:23	操業及び航行する漁船につきましては最大で約 19.81 トンの漁船がございいますが、発電所に対する連続的な流れがないことから施設護岸に到達する可能性は十分に小さいと。
0:22:35	評価してございます。ただし、仮に津波防護施設にしようとする場合の影響についても確認する方針でございます。
0:22:42	漂流物の衝突荷重につきましては詳細設計段階におきまして、行政の位置や津波の流況等に応じて適切な漂流物の衝突荷重の算定式を選定の上、設定いたします。
0:22:53	衝突速度につきましては津波の特性、それから設備の設置位置を踏まえまして、最大流速としてエース発電所周辺 17.63 メーター対策が抽出されていることから、安全側、
0:23:06	18 メーター／sec を津波防護施設の
0:23:09	衝突荷重評価に用いる漂流ソフトとして設定してございます。一連の説明としては以上になります。
0:23:19	規制庁藤原ですそれは質疑に入りたいと思います。
0:23:30	規制庁の江崎です。私から結構、123567890 点ぐらいあるんですけど全部、
0:23:37	うん。うん。
0:23:39	でね資料 1-2 の 362 ページで、
0:23:45	いわゆる
0:23:49	まずこのね、362 の、
0:23:53	第 2、
0:23:55	2.5 の 19 (20) 図の軌跡解析てみると、我々の審査の中では、通常ですね、
0:24:06	水粒子の軌跡解析は、
0:24:09	漂流物の完成が考慮されていないので、基本的に、
0:24:15	いわゆるその、
0:24:16	発電所での漂流物の到達判断には使用していないんですがちょっとこの状況を見る限りではですねちょっと看過できないっていうか、見過ごすことができないので、言わしていただきますけど、
0:24:28	まず
0:24:30	緑のやつで、特に発電所直近のところですよ。これって
0:24:35	茶Ⅱ漁港のところから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:39	呉の軌跡解析だと思うんですけど、これって、ほぼもう、
0:24:46	防波堤の内部ですね発電所の構内、港湾内に入り込んでその円が軌跡解析って動いてると思うんですよ。これからすると、
0:24:59	慣性力はないにせよ、慣性力あるとしてもっとひどいことになってる可能性だって、考えなくもないので、
0:25:06	そういうことを考えると、波源系の
0:25:10	括弧北及び南防波堤訴訟のケースの軌跡解析の結果から、
0:25:18	数は下手すると国道、
0:25:21	229 を通過するタンクローリー車等の、
0:25:25	車両系の潮流物が、発電所構内に到達しているという状況が、これで確認できています。
0:25:34	そうしたことを踏まえて、
0:25:37	このリスクへの対応っていうのは、どう考えるかっていうのはちょっと至急か、リスク対応ですね。
0:25:43	取らないと。
0:25:45	まずい状況になっているっていうのはこう見てわかります。
0:25:48	もう少しも、もう少しですね沖合に行ってしまうとこちに流れ込ん来ないのかなと思ったんですけど水野。
0:25:55	いわゆる、あれですね流速、
0:25:58	両方がこっち来てるから、こっち来てたと思うんですよ。
0:26:01	これオクないっていう話になるのであれば、
0:26:04	公安技術研究所の漂流解析って本当は、関西も、はいつてやるやつあるんだけどそれをやるしかないんだけど、でもそれも基本的に、
0:26:13	今、最近開発されたばかりで、どこまで実用性が設計としてあるのかってのはちょっと見えないので、使ってるところって野村総研とか大和総研とか、
0:26:24	いわゆるあれですよ、保険の。
0:26:27	R I S食うを検討してるとこだけなので、実際の設計っていうベースではないかもしれないんで、ちょっとこっつてかなり難しい、難しいのかなと。来ないっていうことは、
0:26:38	そうすると、来るといった状況になった時にこれを
0:26:42	車両系を漂流物化させないのか。
0:26:46	ということしかまず、
0:26:47	考えられなくて、じゃあだったら、補足装置を作るという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:52	ことも考えなきゃいけない。
0:26:55	補足をそっちかな。
0:26:57	いわゆる別添す。戸次さんか、我々の、そこに、その一部そういうような漂流物、
0:27:04	もう捕捉する。
0:27:06	措置だとかですね、それって、いわゆる
0:27:10	フクイみたいなものを地上に売ってっていう、打ったことをですねストレステスト時代にですね、
0:27:16	ある発電所がやっていて、それをイメージして書いたはずなんですけど、そういったものとかですね。
0:27:23	なんですか、検討しなきゃいけない。もともと漂流物化させないとか、ちょっとこれをまたを、
0:27:29	年度予想線2の次にです。次ってか同じぐらい匹敵する。
0:27:34	ちょっとインパクトがあって以前からその話はですね、お話をさせていただいてはいるんですけど、
0:27:40	ここに来て何だと、まだ来るとは思っていなかったんですけど、飽きてしまう状況が一つもうデータとして、
0:27:48	ご提示されちゃってるので、我々もそれはそれを無視できないっていうことがあって、
0:27:52	これは、
0:27:56	高さんどうします。
0:28:02	我々来ないと思って、ヤブキてですよ。
0:28:08	はい。
0:28:16	置いて評価しているというか、はい。
0:28:21	衛藤。
0:28:22	資料1-2とは別の資料になるんですけども、
0:28:29	資料1-1-1。
0:28:39	パークの、
0:28:44	30ページで来てるんです。
0:28:48	の方で説明させていただきます。
0:28:52	こちらの13ページの方をお願いいたします。
0:28:58	うちの技術者のうち、
0:29:00	それから、
0:29:02	14ページ。
0:29:19	っすね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:23	はい。こちらの方で可燃物が積載された車両の表裏について、し可燃物の減少等の想定される事象が取水性の評価それから衝突活動の算出等に与える影響を説明することという、
0:29:36	ご指摘ございまして、こちら、想定しているものが国道 229 号線の車両を想定してございます。可燃物が積載された車両については、敷地外におけるタンクローリー、こちらが確認されてございますが、
0:29:49	以下の理由により敷地護岸及び港湾に到達する可能性がないタテしないために取水性及び衝突荷重の算出はないと、評価してございます。理由といたしましては、先ほどとる基準津波の流向流速ベクトルから流向が、
0:30:06	短い間隔で変換しまして発電所への連続的な流れがないことを確認してございます。こちらは国道の方で軌跡解析のポイントを置いてございまして、こちらの方で判断。
0:30:17	も参考にして、スウェイ。
0:30:19	評価してございます。
0:30:21	また国道 229 号線の流速ベクトルから、押し波時の速度が大きく、また陸側への移動が大きい、一方で引き波の速度は星波時に比べて、そこだけと比較して小さいことから相対的に移動が小さいと考えてございます。
0:30:36	従って津波来襲に受ける箇所から、の移動は陸側へのエドガー主体的なと評価してございます。
0:30:44	次のページでコンター図を示してございまして、14 ページお願いいたします。
0:30:54	こちら上の三つの
0:30:57	コンター図が 1 番目、左下側の二つが 2 番目、右下の二つが 3 番目になってございます。
0:31:06	こちら、若井の部分がコンター図 S E の方あらわすでございまして、矢印が流向流速ベクトルを示してございます。矢印の大きさ画素流速を示してございます。
0:31:21	こちらの図の中にある緑色線、ちょうど図面で言いますと上側に引かれている緑色温泉がございまして、こちらが国道 229 号線、
0:31:33	になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:34	こちらを見ていきますと、津波は国道 229 号線周辺を遡上していきまして、国道奥に位置する澤地区津野澤、こちら真ん中の図面でご確認させて、
0:31:46	いただきます通り、丸の部分、緑は緑の丸の部分で各ホテルのところは茶津の沢になってございます。こちらに向かって伝播していきます。
0:31:56	国道 229 号線における流速ベクトルから、押し波時の速度に比べ、引き波時の速度が小さいことが確認されます。こちらは、1 番目の左、
0:32:09	とそれから真ん中を比較して判断してございます。
0:32:12	また、陸側国道 229 号線及び海側茶津湾の流行は、短い期間で、主に東西方向で変化してございます。
0:32:22	2 番目、3 点目につきましても、1 番目と同様の傾向を示してございます。1 番目にはめ 3 番目、すべてで陸側への速度が海側への速度より大きく、津波を受けた車両は陸側に移動すると考えてございます。
0:32:37	軌跡解析からでは、こちらの、
0:32:41	図面にある国道の地点 3 ポイント、それぞれ両端部と真ん中の中間地点に軌跡解析のポイントを置いて解析をしてございます。
0:32:53	こちらが先ほどの資料 1-2 のさ、362 ページのところですね、発語漁港、
0:33:05	出ている部分の、
0:33:07	横にですね、3 ポイント点がございます。こちらが国道 229 号線の軌跡解析の結果でございます。
0:33:18	こちらの 3 ポイント、こちらで見ますとほとんど移動していない状況になってございます。
0:33:29	この理由といたしましては、まず、国道 229 号線の初めにウチヤマがございまして、また次あまは真っ平ではなくて凹凸がございまして。
0:33:40	そのため津波の波が、次アマノを凸部の方に流れていくことによって、車両ですねタンクローリーコが想定してございますけどもこちらが J アマノ大粒に大田様。
0:33:53	そ、また衛藤湖野地山に当たった後ですね茶津の様に伝播する流れ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:59	がございますので、ウチヤマに当たって、その凹凸分に収まるもしくはその茶津の澤の方に流されていく。
0:34:09	と評価してございます。
0:34:13	以上をもちまして、国道 229 号線におきましては、
0:34:19	車両の方が海側へ漂流することはないと判断してございます。
0:34:25	以上ですわけですね。今の話聞いたところで納得できないですね。
0:34:30	多分納得できないよね。うん。
0:34:33	不確かさを考えると、タツザワのところから、滝セキでもおかしくないよねっていう話になるよね。
0:34:40	まずはその漂流しないっていう説明しないといけないんじゃないかな。
0:34:47	いわゆる、国道走ってるものに関して、
0:34:50	例えば水位が低いから、
0:34:53	漂流しないとかね。
0:34:56	そういった話ができるのであれば別なんだけど、
0:34:59	決定的な話なんでね。
0:35:07	今、今の話でいったときに、ちょっとずれれば、をね、基本的に海側のところのポイントでは来てしまうわけだよね。
0:35:17	基本的に言うと、水の流れ、水粒子として起こってきてるんだよね。
0:35:21	そちらの方で
0:35:23	絶対流れないっていう保証。
0:35:25	100%流れないって言われていないからさ、これはさ、
0:35:28	はっきり言ってね。うん。
0:35:30	何が。想定外のことは起きちゃいけないので、基本的にそうするとある程度不確かさを見た上で考えるとそうすつと保守そう二つ。
0:35:41	に関して保守的に扱うしかないから、
0:35:44	論理構成として、そうすると、基本的には
0:35:48	今こっちに書いてある 362 ページのこの緑の軌跡を描いてもおかしくない。
0:35:54	という理屈になってもおかしくないわけですよ。
0:35:57	なのでそれをもううち消すんであれば相当のね、説明がないと打ち消せないと思いますよねこれね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:09	北海道電力の高橋です。今回オオキセキ甲斐関井の結果では確かに動いてないっていうところと、あとは津野漁港は確かに流れがあるっていう。でもこれは水粒子の設定だっていうことで、一応この流向流速ベクトル、
0:36:27	当庫の特性を見て我々判断したんですけれども、
0:36:32	今言われた不確かさを含めて、もう少し何か考察、考えたいと思いますけど。
0:36:40	例えばこれ、まずいよこれん来てるっていうお話があるから、これうち決っていかね、到達してるっていう事実をねある程度見せてるわけなんで。
0:36:50	それを実際、実際的にほんのね数、数十メートル違うところでは変わるんですっていう理屈だけだったら話は通らないですよ。
0:37:00	その科学的合理性のある説明しないと、もう抜本的に、
0:37:06	コウにはならないという、安野ウタ津野漁港並みにはならないと、いわゆる2ポイントあまり変わんないわけでそこからなぜそんなに水が水の流れが変わるんだっていう話でこれさ、362だけじゃないんだよね361ページもそうだし356ページ。
0:37:21	354ページ、353ページ351ページ345ページ。
0:37:26	みんなほぼ似たような、
0:37:28	流れになってるから、
0:37:30	基本的にカセ感染力で、海側の、海側から陸側の方に流れてくる監査役或いは基本的には、
0:37:37	敷地にとって敷地の、
0:37:39	護岸に到達してるって考えたっておかしくないので、
0:37:43	減らさ部長等にぶつかってるって話もあるわけなんで、それ以上にねタンクローリー車だから、油運んでるからさ、油が漏れちゃうと、偉い大産地になっちゃうよね。
0:37:54	そういうことも考えていったときにこそ、かなり真剣に真剣じゃないけど、かなり重点的に、
0:38:01	やらないと。
0:38:03	アンドウ発電所の安全性を、
0:38:06	十分弱安全性を確認したことにならないと思うんだよね。
0:38:11	火災防護の観点の話まで繋がっちゃう可能性あるから、ちょっと大事になっちゃうと思うんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:20	はい。北海道電力の高橋です。この国道のを走るタンクローリーについては先ほどもちょっとご説明した後、審査会合でもご指摘いただいていますので、我々としても、しっかり重要な課題だとして認識してございますので、
0:38:36	今回こういう形でご説明させていただいて、我々としては到達しないっていう説明をし、今してますけれども、持ち帰ってもう一度確認したいと思います。
0:38:49	規制庁の江崎です。それでですね、
0:38:52	これ全般にやる話で、そちらも認識してるように、水野根井、粒子慣性力が働いてないである程度
0:39:02	それを、
0:39:04	ベースに、
0:39:05	到達しないっていうのは言えない。
0:39:08	それを岩瀬ていない、今までの発電所でも、
0:39:12	基本的にやって欲しいのは今回ちょっとシビアにやんなきゃいけないくて他サイトとちょっと違うのは、
0:39:17	例えば、
0:39:20	これ何だっけ、1-1-1のさっきのパワポみたいな話で言えばですね。
0:39:27	いわゆるタンクローリーに限らずですね漂流物の軌跡っていうのを考えてる時にここに書いてあるのは、引き波があったから、
0:39:36	基本的に逆に動いちゃうから今年だっていう話は理屈はできなくて、
0:39:41	なかったらそこまでやるんだったら100、
0:39:44	何でコウ案件で漂流物解析やってくださいってどんなかで時間かかるろうと。
0:39:49	その費用もかかるって話になっちゃうよね案件を、下手すりゃ形とか、
0:39:53	あのね
0:39:55	高速の出先使わないと計算できないよね。
0:40:03	で、保守的にやる方法は一つ、もうちょっと泥臭いけど、まずは引き波は考慮しない。
0:40:10	引き波が受けたとしても、そのや日次と市田引いてくるじゃないですか。で落ちてきたときに引き波受けたとしてもそこでは、慣

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	性がかからないけどブレーキ踏まれて止まってるって考えてください。
0:40:21	保守的に、
0:40:23	だから、いわゆる、
0:40:25	その移動距離っていうものが発電所に近づいてくる方向に関しては、その距離は稼いでもらって、その逆方向に働くときは、
0:40:34	もうそれはカウントしない、止まってると言って次の方、第2は財産は来たときに、
0:40:40	押されるんだったらその押された、その時間だけ加算してもらって、
0:40:44	加えていていただきたい。それもすごい泥臭いやり方ですよ ね。
0:40:49	下アクセスルートのだ、
0:40:52	その時間評価に近いような、泥臭いやり方なんだけどそれしか今手だてはないでしょう。そこのところって、基本的には、かなり人間的、人為的に
0:41:03	保守的に扱っているから、
0:41:06	十分安全余裕が生まれてるっていうことしか言えないと思うんですよ。うん。
0:41:10	実態はすべてそう、実験でもしないかわかんないけどそんなことをしたということで、
0:41:16	実験したからといって本当精緻化っていうのは、寝せ正解値に近いかってのはわからない話なんで、
0:41:22	さっき言った協力会セキだってそうですよね。そうすると保守的に対応するしかないんで、引き波がカウントしないで来ないって逆ゴコウカウントしない。
0:41:31	これによっては安全性が生まれているのでそれだとしても、
0:41:35	到達するしない。
0:41:36	工場に入らない。
0:41:38	て言わざるをえないと思うんですよ。
0:41:41	いわゆるこのベクトルの中で、そういう線分を
0:41:45	不
0:41:46	ある判定する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:48	までの距離がどのぐらい稼いだかっていうのを落としてもらって 図、図の中にですね、その移動の、そのぱらぱら漫画じゃないで すけど、そういったような、何て言うんすかね。
0:41:58	図面を
0:42:00	作成した上で来る来ない。
0:42:02	言わない限りはちょっと難しいとっていて、
0:42:06	そのときに、
0:42:07	さっき言ったのはその浸水深。
0:42:10	で、
0:42:11	実際どこで止まっているのか、っていうことがあるんではあるん であればちょっとスリーDグラフィックみたいのを使ってもらっ てですね、実際にその動きはどうなのかっていうふう。
0:42:21	図面を作るか、
0:42:23	2次元で言うんだったら、その縦断面図と大田並列的なものを使 って説明していくか。
0:42:30	かなり泥臭いやり方ですけどそうでもしないと。
0:42:35	話が大事なんで、絶対に来ないっていうんだったら絶対来ないと いう説明で口だけじゃ話は進まない。
0:42:42	安全性はあなたがおっしゃって、1から信用しないわけじゃない ですけど、人柄だけを信用して審査するっていうわけにはいかない から、
0:42:50	基本的に言うとそれなりの根拠を立てて説明しないとならない し、この世界基本的にまだ、
0:42:56	はっきり言って発展途上ですよ。
0:43:00	どっちかっていうと、
0:43:02	そういう世界で行った時はもうかなり保守的に泥臭くやるしか ないと思っていて、
0:43:07	我々も審査官として皆同じ考えであったりしてて他のところは、 そこまでなくても大体今みたいなイメージを持って、頭オカで いけば、大体、
0:43:17	答えが出てくるような状態多いんですけど、今まではね、ここは かなりいろんなものがあって、さっき言った、かなり複雑なもの が複雑な様相音信。
0:43:28	で、かみ合ってるので、なかなかそうそう口で聞いたとしても、 判断はつけられない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:34	という状況になってますんで、
0:43:36	それを具体的に、
0:43:38	するためにはさっき言った、
0:43:41	やり方が一つありますねっていうことで、そういったやり方ぐらいしないと、我々としてもそれは、
0:43:48	これが、
0:43:49	来る来ないという認識は、判断は、認識判断はできないと思います。
0:43:55	はい。北海道電力の高橋です。今日のご指摘踏まえてですね、解析をするのか、泥臭いやり方として、小クドウの場合だと、
0:44:06	押し波で茶津の沢に持ってかれるんですけどその押し波での医療を考え、まずは考えない国道のまんまにいます。で、逆に引くときに引いたその時間を考えて、
0:44:18	そういうのを毎回こう足し合わせてって、発電所の公安に来るかどうかっていうようなことの評価をするかそういったことをすしてきちんとかないっていう、保守的な評価をするか。
0:44:31	先ほど最初に言われたような対策を、そもそも漂流物化させないような対策を考えるのか、そういった
0:44:41	ことが必要だなというふうに考えますので、こちらについては、今一度社内で確認していきたいと思います。
0:44:52	江崎です。続けてですね、これは簡単な話で310ページ、1-2のですね、これは、うん。
0:45:00	適正カーだけなんですか。
0:45:02	310ページに書いてある、
0:45:06	最大流速分布のっていう、
0:45:08	箱、何て言うか、鍵括弧に書いてある、そのあとに、
0:45:13	幾つかポツが書いてありますよねってこれは、
0:45:19	第2.5-16図と10七つをを考察した文章なんですけど、この考察の文章を読み解くのに、図面が小さくて見えないね。
0:45:30	何言ってるかちょっとわからないので、
0:45:32	ここはちょっと
0:45:33	単純に言うと、図を大きくしてくださいっていうだけなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:38	他の電力のアライでございます。最大流速分布、第 2.5-16、17 図、理事できるような大きさにさせていただくということで拝承いたします。多分 339 ページでございますよね。
0:45:51	ちょっとこれちょっとね、一生懸命綺麗な載っけてくれたんだけど、
0:45:55	この文章の話を読み解くにちょっとね小さすぎてわからないよね。
0:46:01	沿岸で流速が速くなるとかさ。
0:46:05	うん。
0:46:06	何となくそのような気はするけどっていうぐらいの話しかちょっと読み取れないんで、ここはちょっと、うん。拡大してもらって、
0:46:14	してください。
0:46:16	続いてその 310 ページで、
0:46:19	こういった話で、最終的には、もっと、その後段のところ、
0:46:24	いわゆるルー
0:46:25	は原形。
0:46:27	を代表として話が進むような感じになるんですが、
0:46:31	もう層厚特にこの、
0:46:33	漂流の判断に、
0:46:36	関係する。
0:46:37	流向流速オダをね、設定するためのその代表は元、
0:46:42	代表とする波源ではそのケースっていうのは、
0:46:46	ここで書いてある話、添 3 ニイツ、こちらとしては分析したんでしょうけど、我々としては、ちょっとわかりにくくて、認められないっていうか、
0:46:56	これ読んでもタナカブンサカねえ、整理できなくて、何が、
0:47:01	適切なのかどうなのかっていうのはちょっとね、判断つけがたいということがあって、
0:47:07	まず遡上域って、そちらの方でポイントドイてるのは泊小だったり、
0:47:13	タツザワ周辺ずつお茶つくですねさっきの国道も含めて、茶津側の方の話、それと、
0:47:21	防潮て前面の発電所敷地や、あと堀株川の周辺だったりあと、岩内町、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:30	周辺、岩内港って言うてもいいかもしれないですけどその辺が一つ、遡上域で、そこをポイントに置いてるわけなんで、
0:47:37	それとともにあと加えるのであれば、発電所、直近ですね 500 メーターってない発電所とそれとそれを超えた、
0:47:46	全面会議、そういった部分をちょっと工夫していただいでですね、区分したその領域ごとに、
0:47:56	海の場合は遡上浸水深ということにならないですけども、津波高さの中なのかもしれませんが、遡上のところであれば遡上の水深がどのぐらいなのか。
0:48:07	ていうのがわからないと。
0:48:09	基本的に漂流物がどのぐらい。
0:48:12	なのかっていう話ですよ。
0:48:14	に影響はどのぐらいあるのかということもちょっとわからないですし、
0:48:18	そのときにそこから、
0:48:21	向かう、
0:48:22	発電所の流向流速、
0:48:24	ペイ、
0:48:26	再輸送経路の中で最大でどのぐらいのものが検出できているのかっていうのが、我々としては理解し、一つ判断基準にしたい。
0:48:37	それと、
0:48:38	とともにずっと行った時にですね、
0:48:41	そう。
0:48:42	そのこと、発電所の方に向かってくる流行での
0:48:50	累積、継続時間、
0:48:54	最初から、
0:48:55	それは一つ目安ですよ。だから、一つの目安として、時間として、
0:49:00	を入れてもらってそれで、発電所からその層、
0:49:04	距離、
0:49:06	言った時に、どういう状況なのか、継続時間が来ればね、予測がわかってくれば、ざくっと計算してくるのかこないのかという判断つけられますよね。この波はもう来ない。
0:49:18	今、場所が来ないというよりは、まずその
0:49:21	たくさんあるから、基本的には簡単なそういう指標の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:25	スクリーニングアウトできませんかねっていうことを言ってるんですがそういった仕様で分類して、
0:49:31	いわゆる発電所に対する影響の大きい波源とケースをつつ、
0:49:37	できれば、もう少し我々の方にもわかりやすい。
0:49:40	整理できて、
0:49:42	頭の整理も非常にしやすいなと思っています。
0:49:45	この辺は、だから、
0:49:47	検討いただけないでしょうか。
0:49:54	他の連絡のアライでございます。こちらにつきましては、遡上域それから 500 メーター。
0:50:01	稲井。それから前面海域等工夫しまして、そのサーケースにおきましてそれぞれの遡上液の浸水深からどのぐらいかわかるように、またその継続時間、それから流速ですね。
0:50:11	こちらを分類した上で、ご説明させていただくようにいたします。
0:50:17	はい。あと、
0:50:19	さっき1回、先ほどちょっと簡単に伝え、お伝えはしたんですがさっきタンクローリー車の
0:50:27	到達、
0:50:28	をどのように、保守的にやるかといったその話を、はこれ全般的にいえる話で、
0:50:34	いわゆる先行実績では、さっき言ったように水の粒子の軌跡解析は、一応、
0:50:40	参考程度にはしてるけど実際それをベースにはしていない。我々の判断基準としては、流向流速、仮想継続地殻距離の話ですよそこをベースにせざるをえないっていう話があって、
0:50:53	そういったことがあってさっき言ったようにですね各漂流物が津波と遭遇する。
0:50:59	いう地点を視点として、
0:51:01	いわゆる例えばですけど、375 ページ以降の表内の、
0:51:08	移動量、
0:51:11	これさ、家は原型っていう感じで固まっちゃったんですけど 375 ページで言ってる移動量を、
0:51:18	全部最初から最後に足して出してください。
0:51:21	隣同士を足すんじゃなくて全部出してもらって、それが多分、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:25	うん。移動量が
0:51:29	そういう視点から、発電所をね、到達する距離として、したとしても届かないっていう説明であれば、我々すぐわかりやすいし安全側だから、
0:51:39	絶対それはないよねって判断できます。
0:51:43	出ないんであれば、秤量解析だとか、んなんだっていうそういうような高度なテクニックを使わないと、その先進めなくなってくると思いますんで、まずはそれを説明いただきたいっていう話です。さっき言ったタンクローリ車と一緒にですね、やり方は。
0:52:02	入っています。わかりますよねだから、だから逆コウコウノを、何は、
0:52:10	カウントしない。
0:52:12	ということでうん、だから基本的に言うとその、
0:52:15	様子を、
0:52:18	363 ページであれば、そこで、
0:52:21	赤い線で言ってるのは大体発電所向かってくる流行のところですよ。
0:52:29	時間を全部加算していけば、例えば、
0:52:36	360
0:52:39	そして 375 か、5375 でいいですね 375 で行ったときに、
0:52:45	そうするとこれ行くと 5. ハタザワさん、福田タツザワすると 5.8 メーターなんですね。
0:52:51	そういう距離、タダ 5 って、
0:52:53	18 キロメートルか。
0:52:55	ぐらいになるわけなんでその程度だとかないとか、そういうような、
0:52:59	もう少し簡単な判断基準を設けて説明いただきたいということでそのエリアのものがここぐらいしか移動しないとか、あとは泊コウとか、
0:53:09	岩内港とそしたら、今度はエリアの方も削り落としていきますから、
0:53:14	そうするとどこだけっていう話になりますよね。
0:53:17	そうずっと皆さんが作られてる同発電所を作られてる、到達するしない。
0:53:22	という判断基準がちょっと明確になってくると思うので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:32	すみません、453 ページですか。
0:53:39	453 ページで、うん。
0:53:43	ここでちょっとこれ確認事項だけなんですけど、
0:53:48	港湾、港湾内の主港湾のですね周辺、
0:53:52	あと港湾内の保守点検、環境調査、要はです。
0:53:57	作業線ですよ。
0:53:59	これっていうのは、仕様はどういう仕様なんですかっていうとキタナカ層構成なんですか。FFRP製なんですかって話。
0:54:09	他の店に行われてございます。こちらにつきましてはFRP製でございます。であればですねそれもちょうと多少ですね、学校へでもいいので、帰り構成だとかなり、
0:54:19	リスクとしては脅威になってくるんではなく、防潮てに衝突としてはMIPサトウもずっと変わってくるんで、
0:54:26	そこはちょっと仕様はちょっと明確にしておいてください。
0:54:30	他に連絡のあれです。承知いたしました。
0:54:32	それでですねこの文章読むと、航行不能を想定してるんですよ。それ安全側にはしてるんでしょうけども、
0:54:40	層厚コウを想定する人っていうのは何ですかっていう話で、
0:54:44	例えば国交省の定期検査は受検されてるはずですよ。マナベ確か漁業で漁港によろであれば免れる。
0:54:55	場合もあるんだけど個人判断ですけど。
0:54:57	多分、そちらの者として関係してるのであれば、契約もしてるでしょうから、
0:55:03	定期検査受けてるはずで、そうした整備っていうのが、
0:55:07	東北で北電、北陸で、北海道電力さんとしての管理課、
0:55:13	ある種、あるわけなんで、
0:55:15	それは間違いないですよ。
0:55:19	何を言いたいかわつぱんとしてるけど、いや、ギョウウ漁船っていうのは管理できないですよ。
0:55:26	規制側も、
0:55:28	申請する側の特に申請者側もその
0:55:31	その個人個人に任されていて、それで定期検査もあるゴトウ以下だとか確か、もうちょっと上だったかな、かなり大きいものも含めて、検査は個人に任せられているので、
0:55:45	受けなかったとしても、わからないわけですよ。それは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:49	我々のこの審査の中ではは、
0:55:53	何ていうんですかね、管理できてる状況ではないので、
0:55:57	そういったものとは違うんですよね。
0:56:00	で、特によく言われているのは、ここドゥってというのは、漁船 って書いてあるじゃないです各社、それは、
0:56:07	責任持って、
0:56:10	なんていうか呼称しません。
0:56:13	定期検査受けさし受けさせていますとはとてもみんな言えないの で、
0:56:17	そうなるわけで、理屈としては、そういった代物なんですよ うかっていうことだけ確認したいんですけど。
0:56:28	他の電力の荒井でございます。作業性につきましては、こちら、 4.9 トン未満でございます、そちらにつきましては国交省、
0:56:38	の義務検査につきましては20 トン以上というところでそちらにつ いては実施していないんですけども下部の下小型船舶の方、方 で検査の方でございますのでそちらで、
0:56:51	実施してございます。そちらの方、江藤確認、今後させていただきます。
0:56:58	一応ですねリスクとしてなり得るのか、荷重として見込むから、 大丈夫ですってそれが一つ。
0:57:05	だとは思うんですけど、私としてはそう、もしそのリスクとし て、
0:57:10	不必要であるんでそのできるだけ漂流物としては、そのリスクは 排除した方がいいと思っているので、一つ言ってるのも一つ、そ こを含めてもう一度調査していただいて、技術関係でどこまで、
0:57:23	漂流物として見込む必要があるのかどうかちょっとまだ、改めて 説明ください。
0:57:30	電力の荒井でございます。承知いたしました。案内の江藤船舶関 係につきましては、江藤、それがエトゴ不能になる可能性があるか ないか、それにつきましては。
0:57:41	整理した上で、再度ご説明させていただきます以上です。
0:57:47	その時にですね、溪流っていう、
0:57:50	話はないんですかっていう話。
0:57:53	いわゆる対比ってしまっ書いてあるんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:56	受けるっていう方法はないんですかってことがき早いじゃないですかというのは、それとともにかなりそれで行こうとする、変わるかもしれませんが、
0:58:06	燃料率先で結局一斉に出ていったら、なかなかね。
0:58:10	出てくる坑口のところで、
0:58:13	今度ツジしてしまいますよね。そういったこともあり得るので、
0:58:21	だからその計器。
0:58:23	柚木ワダって津波来るのはいつ来るかわかんないから、
0:58:27	はいはいそういうことですねうんで軽量っていうことは考えにくいんですけど、計上する場所がない。
0:58:54	いわゆるニノミヤがあるのかどうかという話なんすけどね。うん。
0:58:57	係留はまず全くできないのかできるのかっていう話。
0:59:02	システムとして、ふぐ港湾として、
0:59:07	いわゆる、以前の話でニノミヤがちゃんとあるのかどうかというのをちょっと確認はしています。
0:59:26	はい。
0:59:27	北海道電力の荒井でございます。係留の実施可否、それから緊急退避明け痙攣の実施可否につきまして整理した上でご説明いたします。
0:59:40	磯のエザキですけどなんて言ってるかとかそんな協議ではないと思うんですけどね、燃料斜線と。
0:59:46	他のサイトでは結構、
0:59:49	船改造してんですよね。
0:59:52	作業選定。
0:59:53	ゴムボートにしちゃったり、
0:59:55	そこまでしてやってるんであれば、ここってそんなに、
1:00:00	リスクは高そうではないので、係留するとか、
1:00:03	あとは逃げ切れるのは逃げ切れるっていう話ができるんであればそう確実にしてしまっ別に、
1:00:10	漂流物のリスクはないと言っていた方がいいのかでもそうは言ったとしても、
1:00:15	結局、漁船と一緒にだから、
1:00:18	頭数が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:21	いいですけど、できるだけみんながこのサイトも潜在的なリスクはできるだけ津波においては、
1:00:27	除外しようとしているので、
1:00:30	その辺のところに、
1:00:32	どうするかしないか、しないのであれば、
1:00:34	そのユリ、
1:00:36	胸囲な話はないんだってという話は、できるだけそこを強固に、
1:00:41	ロジックを固めてもらった方がいいんじゃないかなと思って話をしています。
1:00:46	北海道電力の志田です今輸送線の検討もいろいろさせていただいているところで今、
1:00:52	通す専用コウノナカノ船については評価の方ツジとかにさせていただいている状況ですので、輸送線の対応方針ですとかそういったところを定めた上で専用コウノナカノ船の、
1:01:03	評価をどうするのかっていうところを具体的に、コウカトウの船舶も含めてご説明させていただきます。
1:01:09	すいません北海道電力の高橋ですけれども、確認なんですけれども、今この作業線とかについては取水口ですとか、実際その膨張てとかにぶつけても、
1:01:19	保守的に考えるその考え方はいいんだけど、そもそもそういったものを漂流物化させないような対策とかそういったことを、このまとめ資料の中にも、
1:01:29	しっかり書き込んで欲しいってそういうことですか。
1:01:32	はい。
1:01:35	そうですね。評価としては、いえ、保守的にやってると思うんで、いいと思うんですけど、それをさらに漂流物化させないような対策についてもう少し研究すると。
1:01:45	はい、わかりました。
1:01:48	規制庁の江崎です。今度 461 ページで、これはちょっとシマねえ。
1:01:54	のを問う審査との関係性があるんで同じようなコメント。
1:01:58	工夫させていただきますが2点あります。一つは、この発電所沿岸のこの漁場のエリアってあるじゃないですか。この漁場のエリアは、例えばどっち。
1:02:08	どうとかで道庁とかによるですね利用権区域、例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:14	てちいう5件。
1:02:17	区画漁業権、共同要件とかありますがその勉強、
1:02:23	漁場。
1:02:25	そういったものとの整合いずれと不整合だったんですよ、防災とではそうそう。
1:02:31	他に、
1:02:34	擬木名に行って、
1:02:35	この辺の範囲って書いてもらっただけという話があって、それで本当正しいのかなっていうのはわかんないじゃないですか。
1:02:42	我々としてはそういったものであれって、場所が決まってるんじゃないかって、
1:02:47	何キロメートルとかって決まってるんですよそういうものと一応整合的なのかっていうことぐらいは確認する必要があるでしょうし、あともう1個、
1:02:56	生後だっつたのが島根の場合なんですけど、ちょっと上がったけど、
1:03:03	いわゆる、
1:03:05	建設当時で立地、
1:03:09	許可の段階で、環境アセスされてるじゃないですか。環境アセスで特に、
1:03:15	あそこは特殊なのかもしれないですけど、かなり
1:03:18	強調が発電所にかかなり近いのでということと、
1:03:22	埋め立てをして、3号機では、イマイスミダしているので、その関係もあって、環境アセスの中で漁場の関係、利用権がどういふなくわくわく域になってるかというものを出しているんですよ。
1:03:35	そういったものと比較すると、
1:03:38	整合性がちょっと欠けている部分があって、
1:03:41	時代が変わってもそうそう変わるわけではないでしょうからって話があってなぜ不整合なのって話がされていったら、
1:03:47	一部間違えてましたって話があって、
1:03:50	あまりがヤマシタということで訂正を訂正されたんですけども、今回もうちょっとそれはちょっと確認していただいて、もしサンゴ、宗泊であるんであればですねそういう国に申請したもので、
1:04:03	とのその整合性。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:04	ていうのをちょっと確認してください。
1:04:08	よろしいでしょうか。
1:04:10	北海道電力の花井でございます。今のコース、ご指摘の、
1:04:15	通りとげ増につきまして共同漁業権等の権利の区分けと比較しまして、今の野瀬、
1:04:22	内野、
1:04:24	方ではいて記載している漁場も、
1:04:27	記載内容が整合してるか確認させていただきます。以上です。
1:04:32	同じ 461 ページでも 2 点目なんですけど、一応ここでもですね、
1:04:37	先行審査実績をちょっと踏まえてもらって 1 までの例ですけども、
1:04:42	いわゆる漁場と漁港からの航行ルートの不確かさっていうのは、介護でやったと思うんですよ。
1:04:48	許可の段階で、
1:04:51	その不確かさを踏まえて、俵物がいえる船舶を選定していただきたい。
1:04:57	さっき高さんが言ったように 500 メーターということで、基本的には、漂流物衝突荷重の中でも幾つかあると思うんですよね。
1:05:05	額メーター以内に入ってくるとはちょっと思っではないんですけど、そもそもが、あれですよ。
1:05:11	漁業権消滅区域。
1:05:14	入ってくる予測に絶対にこないんでそれは確実なことはいえるので、
1:05:17	それ以外、いわゆる要領書道路挙手保証として評価するようなレベルですよ。
1:05:24	ウツミがきてそのあと、
1:05:26	流れですとついてくるような状態。
1:05:29	そういったような状態で、中に入ってくる。
1:05:34	ものはないのかといったときに、
1:05:36	そう。
1:05:37	さっき言った子、今のこのね 461 ページで言ってる航路っていうのは直線結で結んでるんですよこれは先行されても一緒なんですけど、ただ、
1:05:49	多く
1:05:51	この航路とか工科高校ルートかコウノダテコウを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:56	孔口ルートって方でしシバられてないですよ。
1:06:00	なのでどこでも行けちゃうので、ただ、例のその漁業権消滅とか入っちゃいけないです入ったら、そちらの方で、
1:06:07	出て行ってくださいって話されるでしょうからそれは危険性はないんですけど、それ以外のところはみんな寄ってくるはずなんで例えば、
1:06:14	いかせ線とかが、
1:06:16	前を通過すると、そのの知り合いの関係の方ダテ漁場に行こうとして寄ってから行こうとしてたりそういうのはもう自由ですよ。
1:06:24	そういった不確かさを踏まえてさっき言ったようですね。
1:06:27	その 500 メーター以内のイメージで衝撃的な漂流物、
1:06:31	衝突荷重を考えなきゃいけない、漂流物とは別に置いて、それぞれに、
1:06:36	流れ着く可能性が。
1:06:40	あるものは、まず選ばないといけないので、それも含めた
1:06:45	調査、
1:06:47	その調査結果にしていきたいということなんですけどよろしいでしょうか、先行させていただいて、
1:06:53	はい。北海道電力の荒井でございます。ここルート、それから、今の漁場エリア等踏まえまして、ここ、例えば待避の内角道の対比、
1:07:05	能ルートですとか通常時の航行ルートですとか、それらを踏まえた
1:07:11	範囲を現状のルートとし、ルートといいまして、言いますか想定ルートとして想定、整理いたしましてご説明させていただきます。以上です。
1:07:23	もうちょっと中につきましてどこがもう、
1:07:29	整流的な、
1:07:39	それだけがついてくるって場合だってあるわけですよ。
1:07:43	だから、
1:07:50	規制庁の江寄ですけども、いわゆるその漂流物衝突荷重で一般的にやってる 500 メーターっていうのは少額ヒダカ中なんで、いわゆる 3 フォードのように波乗ってきてるわけですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:02	で、だけど、何が行き着いた後に、この通り過ぎた時に増えてまた動くんですよ。それって、あれ見てくださいいわゆる、
1:08:11	下部集みたいな感じで、結構
1:08:15	3.11の津波で構成センターのでかい船舶は、
1:08:20	いわゆる波状段波がきて、だけど、その時は動いてないんですよ。しばらくしてから動き出して、メダリスト鎖疇津係留されてるんですがそれがもう、
1:08:31	引き継ぎではないけどそれが今いっぱい引っ張られていくっていう様が映ってます。だから、いわゆるですね。
1:08:37	その津波の実験してもそうなんすよ。
1:08:40	いわゆる、押し出す力で消費、呉へキタニぶつかる場合と、それと、そう、かなり重たいものに関しては、
1:08:50	津波の津波っていうのは力が弱いと、基本的に持っていけないので、
1:08:55	ただ、予測はね、動きはつけられるので、しばらくすると動き出してくるんですね、行き過ぎた後に、波のスピードで1と一緒にはないんですよ、動きが置いて、後から来る。
1:09:07	そういったことも踏まえた上で、どこまで考えたらいいいのか、それって基本的に努力仕様書。
1:09:14	という形でもうこれはどちらかというと、
1:09:17	そうか。
1:09:19	兵藤事業部長戸塚中の段階で出てくるんですけどドコモが基本的にそういう場合、保守的に考えて、
1:09:27	こういう呉オオキ船オカをどういう少数計算したとしても、
1:09:32	自分たちがタダウチマツダた19tの相当数の、
1:09:35	呉のシーマだとかLS-DYNAだったものを、荷重が大きいので、
1:09:40	そちらを漂流物衝突荷重としてきてますっていう、1人になってると思うんですね。だから、
1:09:46	そうするとそれとともに木材なんかも全部選んでるはずなんですよ。
1:09:50	それは重量で選ぶのではなくて、荷重で、選別分け生物してるんですよ。
1:09:56	そういったことで、今ここで全部そういったものが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:00	除外を除外してしまうと、基本的には最後その 100 メーターの以内でのその主要 6 所属課長の中で、
1:10:08	含めたとき、衝突荷重を設定する段階では、もう出てこなくなってしまうので、そうではなくて、最初はそういうのは出てきますよっていうことは一応入れといてもらってそれがある程度来たとしても大丈夫だと、どうせ、
1:10:20	あれでしょう、碓井清野鶴田とおっしゃったって別に問題ないわけでしょ。
1:10:25	全部をへ。
1:10:28	なんで開口部が閉塞されてなければ、
1:10:34	そういうこともあるので、あまり間口押せばマウスに、
1:10:38	実際に問題がないのであればそこまでちゃんと納付したサイトとの実績を踏まえて、
1:10:45	幅広に評価していただきたいんですけどよろしいでしょうか。
1:10:50	電力の荒井でございます。今のご指摘の元 500 メーター以内それから、それよりさらに前面の海域についての衝突荷重のところで、
1:11:00	のお話なんですけど、想定してございますのが、500 メーター以内につきましては 5 月船舶関係の 4.59 トンというところで想定してございまして、
1:11:10	前面海域それ以上の外側ですね、海域につきましては今、イカ釣り漁船、こちらが最大相当数が 19.81 トンとなっておりますので、こちら道路教授ホウジョウの方で衝突荷重として影響評価のほうを確認していく方針でございます。以上です。
1:11:31	規制庁藤間です。ちょっと 1 点だけは今の等で 461 ページで泊漁港からいか釣り漁船がもしかしたら泊の発電所の近くを、
1:11:41	航行するかもしれないというのに関しては、衝突荷重という観点と、取水口への到達可能性という二つの観点があって、取水口到達可能性の評価結果が、
1:11:52	462 ページと 463 ページに跨って書かれていますと、20 点以上は検査がやってるから大丈夫です。じゃあ、いか釣りの 19.80 度は、
1:12:03	コウ操船できなくなることは、もしかしたら、あれですかね、検査が義務じゃないから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:09	ここで衛藤さん 460 人の中から 2 行目からですね、取水口到達する可能性については、流向流速に基づく軌跡解析より発電所に関して、連続的な流れがないことから、到達する可能性は十分、要は軌跡解析に頼っている。
1:12:24	いうふうに、見えてこれ先行と違ってんですけど、衛藤翁長とかだともう取水口到達しても、別に家は何だろうふさがないような面積だから大丈夫です。
1:12:35	これ何でコウとモリイ。
1:12:36	こうしてるのかちょっとよくわからず、
1:12:39	いや、一緒ですか中で 19 トンをロケーションでやる。
1:12:44	だったらもうこれも整合させても別にいいような気がしますけど、これわざわざこうしないといけない理由って何かあったんですかね。いや何かチャレンジにちょっと私見たんですけど。
1:12:56	北海道電力の荒井でございます。こちらにつきましては先行のプラントの方では、ショートして成功に到達したとしても、閉塞しないというところで、
1:13:07	1 度も同様に閉塞しないということの評価することが可能ではございますが、江藤、こちらにつきましては
1:13:15	軌跡解析、それから流向流速ベクトルの方で敷地の前面海域 3 キロ、5 キロ、7 キロ圏内のところで評価したところで、取水口の方にくる流れというものがないと判断した。
1:13:28	ためこちらの方の記載とさせていただいた経緯がございます。しかしながら、江藤先行さん同様ですね出席コウ閉塞しないということを一えると、考えてございますのでこちらの方は、記載の方を再考したいと考えてございます以上です。
1:15:27	北海道電力の荒井でございます。アンゼンガワニ補正を見込んだ、内容としまして再考いたしまして、記載の方見直させていただきたいと考えてございます。以上です。
1:15:47	時間も時間ですけど、
1:15:49	ちょっと先ほどのやりとりで気になったことが一つあります。結論として、押し波時に動かないタンクローリーの話でしたっけ。
1:15:59	引き波時に動いてくるそれを加算していくみたいな話をちょっとされて、そういう検討しようかってお話をされましたよね。
1:16:07	それをやればある程度の推進があれば、必ず、
1:16:11	海落ちてしまうんじゃないすか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:13	そうすると、直近会議の 500 メートルのところ落ちてくるんになりますよね。
1:16:17	その辺、何か、
1:16:19	そのやり方をしても漂流物になってしまうというのはもう自明のような気がちょっとして聞いていました。
1:16:25	はい。
1:17:44	すいません軌跡解析の話はですね先ほどから瀬崎さんと藤原さん言ってる話の通りなので、
1:17:55	基本的には規制解析の結果から、到達の可能性を論じるってのはやっぱりまずいっていうか、それはできないと思いますので、
1:18:06	全体見ていただいてですね、そこは、
1:18:11	記載を除くかどうかっていうことは検討いただきたいと思ってます。それで、
1:18:17	じゃあどうするかって話になったときですね、
1:18:21	今、
1:18:23	学会とかでいろいろここまさに今やっていて、北海道電力さんの方もそこら辺の小委員会確か、
1:18:31	どなたが出てらっしゃるんじゃないかと思ってるんですけども。
1:18:34	そこら辺の、
1:18:36	動向ってものも少し見ていただくとですね参考になるんじゃないかと思ってます。ちなみに、学会の中ではですね漂流物の動き、
1:18:47	ていうのは、解析的にやろうとしてもすごく難しくって、最終的にはこれ確率論
1:18:54	みたいなところに辿り着くんじゃないかっていうふうな議論になってます。なので、ある程度、どこ行くかわかんない。
1:19:02	ていうようなそういう話ですよ。
1:19:05	なので、それが今、学会とかのレベルで議論されてるレベルです。なので、先ほど矢崎さんちょっと言われたように、
1:19:16	当たるも八卦何とかってどこ 1 回、わからないのであるので、あるのだったら、そこはもう保守的に、
1:19:23	こういう規制上の呉。
1:19:25	要件であればですね保守的評価をしていくっていうふうに行くっていうのは
1:19:32	一番妥当なやり方かなっていうような感じもしておりますので、そういうような話踏まえて、先ほど明石さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:39	持ち帰ってご検討されるっていうふうにおっしゃられていましたので、ちょっとそういうような観点でご検討いただければと思います。以上です。
1:19:52	他の連絡の荒井でございます。
1:19:56	今の件踏まえまして、衛藤。
1:19:58	規制解析それから今の学会の動向、それから今の漂流物の評価の流れですね、流れといいますか、主流を踏まえまして、
1:20:08	今後、評価の方、
1:20:10	記載していきたいと考えてございます。以上です。
1:20:14	はい。それではちょっとお昼呉の増、休憩に入りたいと思います。
1:20:19	はい、江藤規制庁フジワラですそれではヒアリングの方を再開したいと思います。ではこちらのこちらの質疑から再開します。
1:20:25	規制庁の江崎です。最後なんですけど、私からは、そんな大きい話じゃないんですけど、399 ページページなくていいんですけど、
1:20:34	いわゆる審査の先行審査で実績を踏まえてですね。
1:20:38	いわゆる木材類とか、多少会を書いてあるんですが、大量の漂流物がどうする可能性っていうのは、基本的にはこれ、
1:20:50	否定できないという状態。
1:20:52	今処理してるんですけど。
1:20:54	あんまりたどり着かないって話がちょっと多いとは思いますが、
1:20:57	割とそう。
1:21:00	財務局も周りの周辺、
1:21:02	からの木材とか、実際の自然発生してる。
1:21:06	希望可能性あります。
1:21:09	やつとか、その辺も結構相当しているんで、そういった含めていったときに、
1:21:14	6 サイクルは基本的にみんな到達するっていうような、
1:21:18	話が、対応中でもして、ワダも実際、結構大量の
1:21:24	大田分も臭いが実際についちゃってるっていうのがあってそれは否定できないので、
1:21:29	そうしたものがそういう、
1:21:31	例えば漂流物じゃ流路縮小工だとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:34	ああいった部分に障害にならないかっていう検討の一つのバックボーンになってると思うんですね。そういったことも踏まえたときに、こうしたものは実際には、
1:21:44	漂流物です。いわゆる今後ですよ、計量的な、これは何か一応到達するという考えでもいいんですがそういう整理整理されていくって形で、
1:21:55	どうしても、
1:22:01	北海道電力の荒井でございます。大量の漂流物につきましては木材等が劣化したものが投資施工前の方に到達することを想定してございます。
1:22:14	規制庁、宇田ですわかりました一応到達するというのでそうしたものが、実際にこの前、検討しようとしていた。
1:22:20	兵頭、阿比留商工とか、
1:22:23	戸田形開閉装置でしたっけ里ゲート、その関係にそういう障害を与えるかというような検討に結びつくというふうに理解しました。
1:22:48	ちなみに今のちっちゃい日漂流物解説の記載っていうのは別途、
1:22:54	別途の中で、もうもう記載されてる通りであって、
1:22:59	これから今後流路縮小工のところで
1:23:02	何がしかの表示物は選んでいくっていうことだと思うんですけど、
1:23:06	今多分、
1:23:07	何て言うかね、今何か不漂流する可能性があるとして取水口に到達する。
1:23:14	可能性があるところ、そういったことで結構たくさん何かあると思うんですね。なんか漁網だったり、いろいろと木材とかで、
1:23:25	多分ですね今この使用状況説明があったやつだと要はこういうものがたくさんありますよぐらいしかなくてですね、今後だから流路縮小工の閉鎖可能性のところにおいては、
1:23:37	そのたくさんある中のどれを選んで、
1:23:42	見ますかと代表の新聞、障害物ですねそこをちゃんと説明を今後ですね、いただけるようにお願いしますその点よろしいですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:53	北海道電力の荒井でございます。承知いたしました。今の漂流物の過程の中で取水口の閉塞に影響を与える選定を進めていきたいとございます。
1:24:04	考えてございます以上です。
1:24:09	はい。衛藤。
1:24:11	そしたらですね、ちょっと私の方から、
1:24:16	そこの比較表のですね、
1:24:20	資料1-3の
1:24:24	でしょうか。
1:24:30	そうですね。
1:24:32	1-3の比較表の方ですね。
1:24:36	460ページですね。
1:24:59	資料1-3の460ページにおいてこれは、
1:25:03	泊発電所の記載ぶり、先ほどの漂流物の
1:25:08	対象施設の抽出の範囲とかですね。
1:25:10	あとそれをシマでどうナガヌマ比較してますよ。
1:25:14	それとの差異っていうのがこの相違理由のところに記載されているわけなんですね。
1:25:20	うん。で、
1:25:21	今日はアノエザキの方から話があった、例えば、波源計を
1:25:27	選んでいる。
1:25:30	お客さん。
1:25:31	泊と島根とか女川との違いっていうのはやっぱ泊という単位がたくさんある。
1:25:36	だったらやっぱそういった際であってその、そういう理由のところ何がしかこう示されるのではとかですね。
1:25:43	あとわあ、この
1:25:45	何ですかね
1:25:47	460ページに下から1、1234。
1:25:52	C345678。
1:25:58	ごめん、ちょっとどっかで1.13からごめんなさい。
1:26:03	ちょっと真ん中でした何かなお書きぐらいのところの、江藤4行目ですね、1.13を評価対象としたとか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:11	要は何かこれ代表性の観点で今後説明はあろうとは思いますが、 ども、そもそも論としてこういうところって先行との差異として 何か、
1:26:19	大きいんじゃないかな。そういうところはやっぱりそういう理由の ところに、
1:26:23	何かしか書かないと我々も、
1:26:26	この資料全部、要は見ないとわからないんですね要は、
1:26:30	たくさん出された資料を私たちこれ、
1:26:33	見ないといけないんですかっていう、いやもちろん見なきゃいけ ないんですけども。
1:26:37	まず大前提として事業者としてですねこの先行との差異、
1:26:42	ていうのをちゃんとみずから出さないと、
1:26:45	呉なんかいけないんじゃないかなと思ってるんですね。で、
1:26:49	まず先行と差がどういうのがあるか、それに対してどういうふう に妥当性を示すのか。
1:26:55	もしかしたらどうしようもない理由があってやるんだったら、市 山根先生のサイト特性とかでも、
1:27:01	さっきの波源とかは全然、
1:27:04	別に説明加えることもできますよね。
1:27:07	今日のご説明の中でもそういった先行との差っていうところにつ いてはあまり着目はされてなかったと。
1:27:14	いうふうに思いますんで、
1:27:16	耐震のやったときをちょっと思い出して欲しいんですよ。耐震も 先行との差っていうやつをやっぱり最初に一番最初に、
1:27:23	網羅してもらったんですね。
1:27:25	それに対してどういうふうにやるのか。
1:27:29	その実績あるのかないのかとかも含めてですね。
1:27:32	ちょっと今後ちょっとお願いしたいのはまず比較表においては こういった明らかに差があるところであってたまたま特徴のところ はちゃんとそういう理由とかちゃんと書いて欲しいですね、これ 460 ページのみならずですね。
1:27:45	ただ、代表的な代表ですね、あくまでも、すべてをやるって言っ てるわけじゃないす

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:52	論点になるサトウ例えば今日、軌跡解析一部タテとかアダチですかね、高校敷地沖を航行する可能性のある 20 トン未満の漁船とか、ああいうのも、
1:28:03	差ですよ。
1:28:04	それをそもそも事業者が認識してたか否かっていうところも、
1:28:09	何か今の話だとなんか認識したんだけど、うちから言わなかったらコウ須藤イシダカドイいわゆるそういった印象も受けます。
1:28:17	なのでちょっと申し訳ないんですけど、まずはちょっとそこを整理して欲しいです、まず比較表をきちっとした上で、じゃあ、そういったのどうあるの、どんなものだったかっていうのは今後何か
1:28:28	まとめた上で、要はこういうところが違いがあって、
1:28:31	そこをちゃんとまずやらないと。
1:28:34	多分後からまたあれこれどうなんですかって言ってまた、いや、今更言われてもみたいな話が当然あると思うんですよ。
1:28:42	いいですかね。私の言いたいことは大体ご理解いただけますかね。
1:28:46	北海道電力の荒井でございます。比較表を出させていただいてるにもかかわらず、そういう理由の部分で、不足している部分大変申し訳ございません。混合は論点になる部分を重点的に再度見直しまして、再度衛藤比較表の方、
1:29:05	はい。
1:29:18	北海道電力の高橋ですけれども、デービーとか耐震もそうだと思うんですけれども、今回ちょっと本当に比較表だけのお出しになってますけれども、本来やっぱりその前段で、
1:29:29	取りまとめた資料っていうのがあって、
1:29:34	特に泊発電所としての他社との特徴というのをまずピックアップしたものが、数枚、最初につける必要があるかなというふうに認識しておりますので、
1:29:44	そういった形でまずはその一つ一つのページもさることながら、まず全体として、どういうところが他社と違うのかっていうのをきちんと整理してお付けしたいと思います。
1:29:56	成長フジイ or 規制庁じゃですわかりました。そうですね。軌跡解析とかもそうですねさっきの漁船のアノ、多分そういった観

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	点で見れば、もう明らかに違う評価をやろうとしてることが多分自明になると思うんで。
1:30:09	そこはちょっときちっとやっていただけたらと思います。
1:30:12	その上でそういうの同じような観点で、この同じ資料1-3の
1:30:18	509 ページとか開いて、
1:30:22	いただいてですね。
1:30:33	これちょっと待ってくださいね。
1:30:43	はい。509 ページの上と下から 123 段落目の、何かモニター建屋とかいう、要はRC造の建屋、
1:30:52	に関する記載です。ここについてはRC造がす。藤ヒガシ委員、東北地方の实事例で、回動したっていうことを踏まえて活動すると評価して、
1:31:06	そこまでいいですよ。ただし、この、このただし書きの後ですね、日本語の内容がちょっとよくわかんないですよ。
1:31:12	結論多分まあいいと思うんですけど。
1:31:14	日本語として活動するものの、直接基礎であることから活動しにくいと考えられるで、そのあとですね。
1:31:21	また、取水口発電所港湾内に比べて、
1:31:25	6 メーター高い位置にあることから到達しない、これが、
1:31:29	日本語としてわかんないんですね。
1:31:31	衛藤。
1:31:32	いきなり何か、
1:31:34	止水機構と、
1:32:02	多分そう。
1:32:52	クドウ電力の新井でございます。誤植の件、廃止をいたしました。江藤。
1:32:59	取水口の方に、案内のほうに一度沈みましてそこから修正コウのほうに向かって活動していくんですけども段差等あることから、修正コウ到達しないというのが趣旨でございます。
1:33:11	その土地の断面におきましてちょっと仮定ですね、滑っていく過程を記載。
1:33:18	した上で、再度ご提出させていただきます。以上です。
1:33:23	わかりました。はい。要は、うん、そうですねそのあたりきちっと書いて欲しいです。
1:33:30	マツムネナカ同じような記載ぶりっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:33	どっかに、今度は何かの高さ、
1:33:36	どっか取水口の高さとかいうのが、
1:33:38	記載があるところもあって要は、この資料の中でも、整合がとれてないところがいくつかあるんですね。
1:33:48	ちょっとお待ちください。
1:33:50	パートと江藤ミギタ 509、511 ページの、
1:33:54	下から 1235 行目。
1:33:58	取水口海底面だからこっちをちゃんと標高が書いてあるんすよね。港湾内 TP-14、
1:34:05	要は同じ文章の中で、同じ。
1:34:08	2 番の中でもちょっと、
1:34:10	整合もとれてない。
1:34:12	ちょっと私これ一本当何か見られてるのかってちょっと心配になってるんですね。ほかにも何か動きとかいろいろあつたりもするんですけど、
1:34:20	もう 1 回この辺、全体的に今見ていただいた方が、
1:34:24	いいように思いますが、よろしいですか。
1:34:28	北海道電力の荒井でございます。江藤。こちら辺の記載ぶりの統一の方、再度見直しまして、提出させていただきます。以上です。
1:34:41	はい、江藤清田フジワラです。はい。
1:34:45	今日資料 1-2 の方に戻ります。資料 1-2 の 394 ページです。
1:35:02	失礼しました 390 ページはさっき言った内容なんで、
1:35:05	通しますと 395 ページの方の、
1:35:08	この木造の構造物雑収レーション本館と市営所待機所呉の漂流。
1:35:17	とあと取水口閉塞のに関するもの。
1:35:21	これ実は審査会合で出してるコメントでもあって、
1:35:27	従前の先行プラントにおいてはごめんなさい、こないだの審査会合の内容をリポートしますね。
1:35:34	敷地外のところについては壊れるだろうというのは理解します。
1:35:39	ただ、敷地の中、
1:35:42	ですかねこれは、
1:35:43	うん。しかも結構近い場所については、本当にそうなんですかっていうのがちょっとよくわからないので、ヒアリングじゃないですか、会合でコメントを出してますね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:53	で、
1:35:54	その回答は確かにパワポにもあるんですけど、究極論はこの、この津波工学研究報告で、
1:36:02	前回する。
1:36:03	だから、
1:36:04	では、会合コメントですだけで回答されるとちょっと私は、
1:36:09	足りないのかなと思ってるんすね。まず、この研究内容がちゃんと敷地内のですよ、敷地外はもういいです。敷地内のものについて、
1:36:20	会合でコメント出してますので、じゃあその木造の構造物がどうい柱とか、基礎であるのかというまず明確にした上で、本当にそれが全壊するというところについてはもうちょっと丁寧に説明をしないと、
1:36:34	ちょっと今の会合のう回答ぶりだとちょっと何か、
1:36:38	なんか、ちょっと何か余りにもうざっくりし過ぎてるんすね。
1:36:43	今のちょっと私の何か印象って伝わってますから、ちょっと、何か前回の会合の話があんまりうまく伝わってなかったのかなと思って今申し上げてるんすけど。
1:36:54	北海道電力の荒井でございます。こちらまとめ資料P395ページ及び、資料1-1の指摘事項回答の方で記載してます木造建物の評価につきまして、
1:37:06	現時点で津波評価、津波の実績、それから衛藤津波工学研究報告のところで全壊するという浸水はコガ2メートル以上で全壊するという記載をさせていただいています。
1:37:20	1件、想定していますのが松波箱が上がっていく断面でですねまず初めに、まず、扉、それから物と構造的な強度が低いものからまず破損されまして、
1:37:33	それから衛藤そこで機、
1:37:37	建物の外側それから内側の接水圧が、
1:37:43	正圧が大きくなることによって、まず壁の方が、次が壁の方が破損していくと考えられます。下部の方が、壁のに比べて柱のほうが強度が強いため最終的に柱が破損されて、
1:37:59	基礎から受けて、破損するものと考えてございます。
1:38:03	今の江藤考えではそのように扉。
1:38:06	壁。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:07	柱といったような順序で破損していくものと考えてございます。
1:38:12	この部分が、記載として不足してございますので充実させていただきたいと考えてございます。
1:38:18	須藤規制庁藤間ですわかりました。もっとそうですねまずはまとめ資料できちっと充実させて、パワポには、どうどう表現するかちょっときちっとご検討ください。当然この今の現時点でのこの
1:38:29	そう言った、集英社本館だったり待機所とか、
1:38:33	何ですかね、これの実際の、どういう構造であるかってのを踏まえて、今後説明いただけるようにお願いします。はい。
1:38:40	その次としてですねえ。
1:38:45	と。
1:38:47	4、資料1-2の453ページ。
1:38:58	453ページちょっと作業線ということで一応敷地内の公安の話なんですけども、ちょっと今聞いたところなんでちょっと言っておきますが、作業線については、
1:39:10	この真ん中の方にし作業線の寸法が取水口よりも大きいため、全面にとどまり、静通行し、
1:39:20	通水性が損なわれることないっていうふうに書かれていると。
1:39:23	その次の、155ページですか、その次の次のページですね。
1:39:28	そこでその根拠が示されて、
1:39:31	うん、なるほど作業性の寸法が取水口よりもおっきいのかっていうのをこの済みで未確認しました。
1:39:38	鳥栖漁船サクライはそうかもしれないと思ったんですけど、
1:39:43	作業性正面っていうこの下の図って、
1:39:45	そういえるのかがちょっとよくわからない。この辺ってどうなんでしょうかね。
1:39:50	文章とこの図との関係をちょっと。
1:39:52	説明してもらっていいですか。
1:39:58	北海道電力の荒井でございます。衛藤取水口の飲み口が、4.25掛ける4.25の二口になってございます。側面の方につきましては8メートルとなっております、完全に閉塞するものであると。
1:40:13	正面におきまして、こちらの先方自体がすべて、
1:40:19	かぶったとしても、取水口の衛藤取水必要のパーセントであります3%っていう部分については、閉塞する。
1:40:29	可能性はないと評価してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:34	ごめん、規制庁イマセもう1回ちょっと言いますね 453 ページで、寸法が、作業線を探しの寸法が大きいから、取水口前面止まりって書かれてるんですけども、
1:40:45	まず前面に止まるんですかっていう、多分質問なんですけど。
1:40:53	はい。北海道電力の荒井でございます。当然面にとどまると評価してございます。
1:40:59	といたしますのも、津波はこの高さのところとそれから取水口の上の、
1:41:05	取水口ですね、天板天板と申しますか、455 ページで言いますと施工だと、こちらの二つの下の、
1:41:16	色の薄い四角の部分が取水口飲み口となってございましてその上の枠のところ、衛藤。
1:41:25	布施。船舶の方が滞留することになると。そうしましたら、衛藤取水口の方には、前面には、止まるのですが取水口自体には閉塞はさせないような形状となっております。
1:41:37	規制庁じゃないです津波高の推移ですかね。
1:41:43	なんすかねこれ取水口の 4.25 高さよりちょっと上に引かれてる。
1:41:47	喫水より
1:41:51	アマノなんですかね、水野翠川、これは何の水なんですかね。
1:41:58	こちらにつきましては取水口の衛藤スイートししまして、ノース水位が完全に下がった状態。
1:42:08	このタイミングでの推移を示してございます。
1:42:13	あと、フジワラですけども、基準津波による引き波の最低水位ってことですか。
1:42:18	引き波の水位とそれから貯留堰の方の江藤水。
1:42:24	その時の水の方は、それぞれで保たれてる水。
1:42:28	そちらの推移を示してございます。
1:42:32	規制庁じゃないん。そしたらこの 455 ページにまず水をちょっと書いてもらっていいかという推移であるのかって言うのと、あと数もちょっと今のロジックですかね 453 ページのこの、
1:42:45	ナカは寸法が大きいから都丸って書いてあるんですけども、寸法が大きいことに加えて、臼井引き波で最低となる水。
1:42:56	を踏まえても要は植野なんですかね町坂のところではぶつかることから、都丸。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:03	に加えて近藤なんすかね、面積自体もそんな大きくない。だから、取水性確保策、一応そういうロジックと理解しましたので、
1:43:11	ちょっと文章足りないような気がしました。いかがですかね。北海道電力の荒井でございます。不足してる部分につきましてはまとめ資料のほうに記載を充実させていただきます。メールといたしましては、衛藤佐伯水によりましては上盤の方で、止まると。
1:43:25	また、面接投影面積につきましても取水口完全に塞ぐような面積にはならないというような記載を記載させていただきたいと思います。以上です。
1:43:35	わかりました。はい。
1:43:48	はい。
1:43:50	規制庁の谷口です。
1:43:52	それでは資料1-2で、
1:43:55	ちょっと確認させてください。
1:43:59	308 ページ目のところ、
1:44:06	これは酒税確保に向けた検討を何をするのかっていうことが、言葉で書いてあるんですけど、
1:44:13	ここの、
1:44:15	対になってるところの次のところはここに具体的にやってる内容について書いてると思うんですけど。
1:44:23	この辺の流れがよくわかりません。
1:44:28	それで、言葉としては、特性を把握した上で中三、四設定する。
1:44:35	かなーヘッドフローを策定する。
1:44:38	それから、
1:44:39	設備については、
1:44:42	漂流する可能性と、
1:44:44	全面到達する可能性閉塞する可能性を確認しますって書いてある。
1:44:50	この辺の全体の流れが、
1:44:52	もうちょっと、言葉じゃなくて、例えばフローで書くとか、わかりやすくしていただけないかなと思ってます。
1:45:00	この作業をやった結果として、
1:45:03	出てきた、
1:45:06	要は、漂流物の検討フローが 381 ページ目にある。
1:45:11	フローなんだと思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:13	これも、
1:45:16	これが一つの
1:45:18	こうやって評価するっていうことの、
1:45:21	内容は、381 に書いてあると思うんですけど、
1:45:25	これも非常に中身見ていくと、
1:45:28	この中に、
1:45:30	具体的に評価基準とかいろいろ細かく書いてあるんですけど、
1:45:34	この辺の妥当性についての説明が一切書いてないんですね。
1:45:38	どうしてこうしたのかってことも含めて書いてなくて、
1:45:42	突然こう書いてあって、ノーの場合は、
1:45:45	とかいろいろ書いてあるんだけども、
1:45:48	結局この辺、何をやってきて、何をやろう、やろうとしてるのが がやっぱりフローかなんかで説明は足りないってこと。
1:45:57	いやハッタフローに、
1:46:00	要は、この辺の評価基準で非常に大事な話だと思うので、
1:46:05	評価基準についてもどっかでどういうふうに評価、こういう基準 にしたのかっていうことも、
1:46:11	書いてあげないとわからないかなと思うんで、
1:46:14	もう少しこの辺の書きっぷり。
1:46:17	じゃ、自分たちが何やろうとしてるかっていうフローの書き方 を、
1:46:22	もうちょっと、
1:46:24	検討していただけないかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:46:30	北海道電力の荒井でございます。
1:46:36	連絡等ありでございます。ご所見、ご指摘の件廃止をいたしました。 まず初めにですね、308 ページにつきましては、文書でか。
1:46:45	記載させてございますけれども、内容としましては津波の特性を 把握した上で、抽出範囲の設定をしてその範囲に対して、評価を して、
1:46:55	それで結局、寄付といいますか到達、それから閉塞する可能性が ないっていうことを、もう少しわかりやすい可視化した状態、ズ ー等に落とすところな状態で記載させていただきたいと考えてご ざいます。
1:47:06	そういうのは図、図でフローを書くのが簡単かなと思いますけ ど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:11	308 ページの方はそのように修正させていただきます。381 ページにつきましては現状判断基準のところ、こちらのフローの中に落とし込ませていただいておりますけれどもその判断基準とした根拠ですね。
1:47:25	こちらにつきましてもこのフローの中に、としい今回もしくは文章の方で記載させていただきたいと考えてございます。以上です。はい。この辺
1:47:36	ここに書いてある、言葉で書いてある部分でステップ1ステップにステップ3のことも書いてあるので、
1:47:42	こういうこともちゃんときっちり書いてある書いて、何をやろうとしてるかわかるようにしてください。よろしくお願いします。
1:47:50	それから、衛藤 341 ページ目のところですけども、
1:48:01	先ほどもお話がありましたけど、
1:48:03	基本的に気づき、
1:48:06	軌跡解析の位置付けがよくわからないんですね。
1:48:10	ほんで、
1:48:12	ここで初めて先セキ解析っていう名前が出てきて、こんなこういうことをやろうとしてるんですけどっていうなことは書いてあるんですけど。
1:48:23	読んでいってる中で、私の方で把握できなかったのは、
1:48:29	3309 ページのところ、
1:48:31	一緒に見ていただければと思いますけど、
1:48:34	敷地周辺に来襲する津波の特性の把握のところ、
1:48:42	要は波源、それから上昇量の分と最大流速分布はこうですって書いてある。
1:48:48	これは、
1:48:51	何から出てきたものですか。
1:49:03	他の電力の荒井でございます。申し訳ありませんもう一度よろしいでしょうか。ここにね、
1:49:08	最大流速分とか 2-5-12 から 2-5-17 まで、具体的に町長量とか、流速分布とか書いてあるでしょ。
1:49:18	この結果っていうのは、
1:49:20	何をやってできてきたものですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:24	電力の荒井でございますこちらにつきましては平面二次元解析の結果を踏まえまして、こちらのA棟第2-5-7兵頭衛藤、それからそれ以降の2.5-1027図。
1:49:37	に示してございますね。だから、ちょっと平面二次元解析の結果からこういうものを出しました。
1:49:45	それを利用して、軌跡の解析をしました。
1:49:50	ていう流れなんじゃないかなと。私もよくわからない中で、読んでみたらそういうことじゃないかなと思ったんですけど。
1:49:57	要は、先ほどの41ページに書いてある軌跡の解析のことも含めて、
1:50:04	結局、
1:50:05	平面二次元解析って簡単に書いてあるんだけど、これはハザードのほうでやってる解析なのかよくわかりませんが、
1:50:13	その辺の位置付け解析の位置付けをきちりどっかで定義しないと、
1:50:19	平面二次元解析は何のためにやってて、どういうモデルでやったのか。
1:50:24	それから、布石解析はそれを利用して、
1:50:28	気づきだけこう評価したって形なのか。
1:50:31	その辺、どういうモデルでどういう、どういうことを必要とするからここまでこういうモデルを使って、こういう解析をします。
1:50:41	ていうのが、先稲井はどっかで書いてあるのかわかりませんが、
1:50:45	書いてあった上で、その結果はこうでした。
1:50:49	ていう感じかなと思ってんですけど。
1:50:52	突然うまくセキがこうでした。
1:50:54	だから、越冬ん分流速分布はこうでしたって書いてあるんだけどその辺がもうすでにもう知見のもので、説明されてるものであればいいんですけど、
1:51:06	それが後になって、石油の軌跡解析はこういうことすみたいな形で書いてあったりとかしてるので、
1:51:14	やっぱり解析を引き続き解析をする、何のためにしてるのか。
1:51:19	そのモデルがこういうモデルで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:22	こういうことが知りたいからこうしたいんだっていうことじゃないかなと思ってるんです。ですけど、それがなかなか見えてこないの、
1:51:30	結局、その軌跡解析が妥当かどうかってことも当然あると思いますけど、
1:51:36	そういうことの、やっぱり限っ書き、書き込まないと、やっぱり突然出てきてるものが何なのかよくわからないの、
1:51:47	やっぱりもう少し丁寧に書いていただいた方がいいんじゃないかなと思うんですがいかがでしょうか。
1:51:53	北海道電力の荒井でございます。ご所見、ご指摘の件廃止いたしました。現時点の記載の構成といたしましては最初に平面二次元解析の結果、記載してございまして、
1:52:06	ページ 341 ページの方にですね、この平面次元解析から求まる流向流速で軌跡解析をしているという記載がございますけれども、江藤元詳細にですねどう、
1:52:20	位置付けで、二つの解析が位置付けられてるかっていう部分は、記載のほうを見直させていただきたいと考えてございます。以上です。別のところで書いてあるのであれば、逆にそれを、
1:52:33	委員をしていただくとか、そういうことで説明すればいいんじゃないかなと思いますけれど。
1:52:39	電力の荒井です。拝承いたしました。はい。よろしく申し上げます。
1:52:44	それから、363 ページ目のところです。
1:52:50	抽出範囲の設定に当たって、
1:52:53	流速が最も大きいと考えられる波源系の、
1:52:59	防波堤損傷なしで代表させるって書いてあるんですけど、
1:53:03	これの、
1:53:05	流速が最も大きいと考える波源系っていうのは、わかりますけどそれが、
1:53:10	どういう炉則だったのかっていうことは、どっかに書いてありますか。
1:53:23	北海道電力の小原でございます。ページ番号 312 ページの方をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:33	こちらの方の、津波の特性の中に記載がございまして、ツジの枠の一つ上のポツに記載がございまして、発電所港湾部の最大流速は現計防波堤損傷なしであり、
1:53:48	というところに17.63という記載がございしますが、軌跡解析の部分につきましてもこの数字の方へと記載しまして、一目でわかるように、見直したいと考えてございます。はい。
1:54:00	私のイメージとしては、
1:54:04	結局、
1:54:05	そこがもっと大きいところはどこになってるかとか、数字が幾らかとか、書いてある資料もあるかもしれないんですけど、
1:54:15	その辺が丁寧じゃないので、突然書いてあって、最も大きいって書いてあるだけなので、本当はそれを比較したものが何かあるのかなと思ったんですけど。
1:54:27	比較して、これが一番大きいんだっていうことならば、
1:54:31	そういう評価のしかたのがあるかどうかは別として、今そういうふうに表現した部分については、ちゃんと読めるように、
1:54:42	しておいていただければと思いますけど、いかがでしょう。
1:54:46	拝承いたしました。他の電力の荒井でございしますが、ご所見廃止をいたしました。当選定に当たった、
1:54:54	企画とかです。ね。そちらの方を記載させていただきたいと考えてございます。以上です。はい。よろしく申し上げます。
1:55:01	それでですね後、
1:55:03	363 ページ目のところの、
1:55:06	地点13とか23って書いてあるんですけど、
1:55:11	これわあ、
1:55:13	342 ページ目の、
1:55:16	ところの、
1:55:17	モデルっていうか、
1:55:21	ここまで戻らないとわからないんでしょうか。
1:55:34	衛藤。
1:55:35	今何を言わんとしてるかという、
1:55:40	13 評価対象として。それは敷地を民族が最大となる地点だって書いてあるんです。
1:55:46	その辺が地点13ってどれなのかわからないんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:50	それは 342 ページ目のところ、最初の、
1:55:54	まで戻らないとわかんないので、
1:55:58	これに見てくださいって異なるはそうなのかもしれないけど、やっぱりちょっと説明が足りないかなと思います。
1:56:05	それで、
1:56:07	いろんなところが足りなくて、
1:56:10	要は、
1:56:12	泊の敷地はどこであるかっていうのと、泊コウ角かもわかんないし、13 もわからないし、新居さんもわからない。この絵見ただけでわからないんですはっきり言うと、
1:56:23	要は全部見に行けばわかるでしょってその下、そうかもしれないけど、
1:56:28	この図面見ただけでわかるようにしていただきたいなと思ってますけどいかがでしょうか。
1:56:35	北海道電力の荒井でございます。ご所見廃止をいたしまして、大変申し訳ございません。同図面の方にですね地点の図情報それから漁港の情報、それからサイトウの情報等ですねそれぞれ入れた上で、江藤一目でわかるような図面に修正させていただきたいと考えてございます。以上です。はい。よろしく申し上げます。
1:56:54	それからー。
1:56:57	2-5-19。
1:56:59	ちょっと、2-5-20 ではありません。
1:57:03	これは、
1:57:06	19 の方は、
1:57:09	70 秒から見たっていうので、何となく、
1:57:12	18 のところに囲った上で、2-5 の状況が書いてあるんですけど、
1:57:18	例えば 371 ページ目。
1:57:35	-2 のこの 19 とか 20 とか書いてあるんだけどここ、ここにこれ書いてあることはせんと、赤い破線でくくったところの話なんですわきっと。
1:57:57	北海道電力の荒井でございます。衛藤。こちらの、
1:58:02	2-5-19 のピックアップした図面につきましては、衛藤。
1:58:08	ご認識の通りその前ですね 2-5-18 の赤線で振った部分で稼げた部分の上の方にですね、2-5-19 の対象ページ対象図、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:19	の名称が書かれてございまして、こちらの方をピックアップした ものになってございます。
1:58:25	ー2ー5ー19 図が、
1:58:28	の (4) と (3) と書いてあるけど、これの説明はどこにない、あ りますか。
1:58:38	ちょっとこの辺、図 2 回、文章に書いてあって、図面に記載がな いようなものが、例えば次の 2ー5ー20 も含めてなんですけど、
1:58:49	これも、
1:58:50	経典における波源系におけるスイート流速という項 2 のこの 20 っ て書いてある、書くって書いてあるんですけど。
1:59:00	ないんです。
1:59:01	伊奈オオタニ様が、
1:59:04	北海道電力の荒井でございまして。大変申し訳ございません。江 藤。こちらの 2ー5ー20 図につきましては、衛藤、そのあとにです ね、2ー5ー18 図、365 ページから続いている図版の方。
1:59:18	ズバーンすのずれがございまして、そちらの方文章と整合をとれ てない状態でございました大変申し訳ございません、こちらの方 を修正させていただきます。
1:59:28	ちょっとこの辺、特にずばず万能書き方のところでちょっとやっ ぱり、
1:59:34	表現が一アノずれちゃってるのかもしれま 21 図もないので、
1:59:43	6ーアライでございまして大変申し訳ございません。現時点、
1:59:47	で言いますと、2ー5ー18 図が 2ー5ー20 図、それから 2ー5ー19 図 と書かれているものが、2 の方の 21 図、
1:59:57	になってございます。そのように修正させていただきます。はい。ち よっとその辺、もう少しきっちり見ておいてください。よろしくお 願いします。
2:00:06	それからですねえ。
2:00:10	移動量の移動量の計算方法を 364 ページ目のところ、
2:00:16	これ先ほども話が出ましたけれども、押し波の一派等に雨を、
2:00:23	の継続時間を足してやるんだってところがあたり、
2:00:26	これの妥当性、さっきも話が出て全部足した方がいいんじゃない かって話もあったと思うんですけど、この辺については、考え 方についてどうするのかを、
2:00:39	見直しをしてください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:44	北海道電力の穴井でございます。江藤先ほどご指摘あった内容を踏まえまして、今のと、隣の2は、藤なり海は、の補正を見るのかそれとも前、
2:00:56	全体的な、10分間に70分間の全体的な中身を見るのか、改めて補正の中身ですね整理した上で、提示したいと考えてございます。以上です。はい。よろしくお願いいたします。
2:01:08	それからですね、
2:01:13	ちょっと教え、見方を教えてください。先ほどの381ページ目のところの、
2:01:19	フローの中フローが
2:01:22	きっちり書いてあるところの、
2:01:25	ヒラタンですけど、
2:01:28	これは、
2:01:30	ステップワンで秤量する可能性を見る場合に、
2:01:34	漂流するかっていうところについて、
2:01:38	漂流するかしないカドノ。
2:01:40	漂流しないしないっていうふうに判断する時の、
2:01:45	条件が、この右側に書いてあるA B C Dということになるんですか。
2:01:55	北海道電力の荒井でございます。381ページのフローの中でですね、漂流するか、まず最初のひし形の漂流するかの部分の判断基準として能として、これで受ける部分。
2:02:08	につきましては、右上の判断基準の、
2:02:11	の記載をしてございます。
2:02:15	これそうすると、
2:02:17	再稼働までに、津波の遡上駅から撤去したものは、
2:02:22	漂流しない。
2:02:24	ていう評価するってことなんですねこれ。そうすると、
2:02:28	瀬瀬電力の荒井でございます。その通りでございますそうですね。この辺の先ほども述べましたけど、判断基準、文章の中でもいろいろ書いてあるんですけど、
2:02:41	鉄骨造は終了しないと考えるってことだと思んですけど。
2:02:45	明日、この辺をきっちり評価、評価するし、したんだっていうことは、文章の中には書いてありますけど、きっちり評価基準として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:56	記載して、どうしてそうしたのかっていうのはわかるようにしておいてください。
2:03:07	保険の入力の荒井でございます。承知いたしました。衛藤判断基準の方を文章として記載させていただいているのと、現時点におきましては評価の方文章の後に表でつけさせていただいてるんですけども、そちらの方で漂流する判断基準の方を記載させていただきまして判断基準それぞれ記載してございます。
2:03:29	お礼を申し上げますと、
2:03:33	図で言いますと、
2:03:35	Cリーダー、399 ページの方をお願いいたします。
2:03:46	こちら文章で記載している内容を表の形にしたものでございまして、こちらの方でステップ一位の漂流する可能性活動する可能性としまして検討結果のほうを記載してございます。
2:03:58	その上にですね、一番最初の、それぞれの数、表の区画の中でですね括弧書きで判断基準の方を記載してございます。この判断基準結果が先ほどのフロー図の判断基準の落とした番号と整合してございます。
2:04:14	M a a S 数、それはわか分かるけど、
2:04:20	結局フローが書いてあって、封能の中身の評価基準が、
2:04:26	後のページの方に書いてあるっていうのがよくわからない。
2:04:30	要は、
2:04:32	こういう評価基準でし決めましたっていうのはフローの中に書いてあるんだったらそこで、これがだと、こういうふうに考えるのが、
2:04:40	妥当だと考えたというふうに、やっぱり書いておくべきだと思って、その番号がついてるものが、ここに一番とか 2 番と書いてあるならわかるんだけど、
2:04:51	やっぱり、
2:04:52	資料の作り方としては、
2:04:54	やっぱり最初のところで評価基準をこう決めました。
2:04:58	この結果のところは、今になりましたって書くのが筋かなと思うので、やっぱりあちこち飛んでいかないと読めないっていうのはやっぱり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:09	書類としてはやっぱり見にくいので、やっぱ、大体、あっち行ったりこっち行ったりしてみたんですけど、大体そうだろうなと思いましたけど。
2:05:18	やっぱり、作り込みの仕方についてはちょっと考えていただければと思います。
2:05:25	北海道電力の荒井でございます。ご指摘、拝承いたしました。まず、江藤今野作り込みに関しましては判断基準を設定した上での記載となっている。
2:05:36	状況と、ここに認識してございます。まずその判断基準をどう設定したかっていう根拠につきまして、前段の方で記載することで、わかりやすく、
2:05:46	後ろ方修正したいと考えてございます。以上です。はい。よろしくをお願いします。
2:05:52	それから、
2:05:56	とですねえ。
2:05:59	393 ページ目のところです。
2:06:05	安定流速の UDS 6.7。
2:06:14	これが一、どっかで見ると、安定充足は 6.7 であるかなって書いてある。
2:06:21	それがきっと安定流速なんだと思うんですけど。
2:06:25	算定に用いた諸元っていうのは、
2:06:29	具体的にはいすオノ好きの、これ、この
2:06:35	下に書いてある凡例のイメージだと思うんですけど、
2:06:38	この凡例の各数値は、
2:06:42	何を使ったかっていうのは書いてありますか。
2:06:46	ショウガン。
2:06:52	北海道電力の荒井でございます。こちら判例につきましては諸元といたしまして、人それぞれの人工構造物の主な諸元、
2:07:01	で、田井の 2.5. 9 表の方の諸元、それから、
2:07:08	イスバッシュ式の、同次の方で書かれてる各パラメータに対する数値、
2:07:15	の方を記載してございます。2.5 の復旧表がそれになってるんですか。
2:07:26	行われるその通りでございます。
2:07:30	これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:31	ごめんなさい。
2:07:32	ここで書いてある質量っていうのは何ですかそうそう。
2:07:37	この式でいうと安定質量ってやつですか。
2:07:42	こちらにつきましては安定質量ではなくてそのもの自体の資料で ございます。
2:07:50	ごめんなさい、この
2:07:51	イスバッシュ式っていうのを使って計算したんじゃないんです か。
2:08:01	その電力の荒井でございます。石橋式の方を使用しまして安定利 息の方、
2:08:10	算出してございます。
2:08:13	そちらの数値が、各文章の方に書かれてる。例えば、6.7メータ ーパーセク。
2:08:20	そういった数値はこの394ページの一番上、辻野植野。
2:08:25	UDSという部分の式から算出してございます。この式の中に すねも、先ほどの2.5. 9票の質量、それからさっき、
2:08:35	393ページのイスバッシュ式に書かれている各パラメーターの数 値を入力して算定してございます。
2:08:46	ここで、2.5. 2.5-9表のところに書いてある質量っていうの は、
2:08:53	この表でいう凡例のどれになるんですか。
2:09:05	mですか。
2:09:12	北海道電力の荒井でございます。こちらのMDの方になります。
2:09:18	結局、この6.7ってのはどうやって出したのかわからなかったの で、
2:09:24	確認のしようがないんですはっきりと。
2:09:27	だから、
2:09:34	案68メートルに対して安定住所が残ってるのがありまして、ドラ イ分についてはコンクリート部だっていうので、じゃあコンクリ ート部ってどれ見るのかわからない。
2:09:46	で、その数字で、
2:09:48	何を入れてこれになったのかわからない。
2:10:11	事業者内で確認させていただきます。
2:10:51	他の電力の荒井でございます。土肥393ページのほうで記載して ます案と提出量の式から、衛藤そっから安定流速の式、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:02	の方に換算させていただいてその方で、安定流速の方を算定して ございます。その算定するに当たった数字としましては、先ほど の2.5.9表の記載の
2:11:16	質量の方入力、それから、カクウですね衛藤M。
2:11:22	Mで以外の、
2:11:23	M0 それから三つですね三つ分群以外のものにつきましては、各 パラメーター、
2:11:30	を入れて、
2:11:31	それで出力、出力といいますか算出してございます。
2:11:36	こちらの方いきなりMで、
2:11:39	安定質量のスキーから判定流速の式、突然記載して、
2:11:44	きましたので、もう少し算出過程がわかるような内容に、
2:11:49	したいと考えてございます。
2:11:52	はい。よろしく申し上げます。
2:11:54	それからですね
2:12:00	これは先ほども話が出てたんだ。
2:12:03	ごめんなさい。
2:12:04	467 ページ目のところ、
2:12:08	これは見直されるんだと思いますけど、
2:12:12	基本とする設計条件として設定する対象漂流物とかいう形で、
2:12:18	防潮鉄塔貯留水、橋梁セキのところは、作業性んしか見ないって 書いてあるんです。この辺もさっき言ったように、
2:12:27	いか釣り部でも、どうするかっていうことを書き込むんですね今 後、
2:12:33	他の電力の荒井でございます。今後の対象者、漂流物につしまし ては先ほどありましたユキカツラ漁船総トン数19頭程度につしま しても記載をする方針で考えてございます。以上です。よろしく 申し上げます。
2:12:48	それから、
2:12:52	1399 ページ目。
2:13:08	ごめんなさい。
2:13:11	これはごめんなさい、これはやめます。
2:13:18	センサーば。
2:13:20	衛藤。
2:13:22	はい。1399 のところに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:26	資料飛びますけど、
2:13:28	津波遡上シミュレーションって書いてある。
2:13:33	津波遡上シミュレーションって書いてあることの内容とか、
2:13:37	どういうモデルでどうやってるんだってことが全然わからないんですけど。
2:13:42	これはどっかに記載されてるんでしょうか。
2:14:05	根井 1398 ページの下から 8 行目ぐらいのところに綱津波遡上シミュレーションって書いてあるんだけど、
2:14:14	これは何ですか。
2:14:19	北海道電力の吉井ですこちらの津波遡上シミュレーションにつきましては平面二次元解析となつてまして、入力津波の資料の添付資料 2 の方に記載をさせていただきます。
2:14:32	ちょっとそちらを呼び込むような形で記載を見直したいと。そうですね。思います。要は、平面に先ほどもメネジ解析とかで出たんだけど、要は言葉の遣い末、
2:14:43	定義をちょっときっちりしておいていただければと思います。
2:14:46	援用していただければいいんじゃないかなと思いますけど。
2:14:49	北海道電力誘導施設廃止をいたしました。こちらの定義とかその辺りをきちんと補足して、適正化を図りたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
2:15:13	安心です。
2:15:15	よろしいでしょうか。
2:15:17	津波遡上新田しか、
2:15:21	直すっていう。
2:15:31	あと、
2:15:33	これは添付の 37、資料の 1000、1803 ページ目のところ、
2:15:42	先ほどもちょっと話しましたが、要は、
2:15:47	発電所周辺海域の各図に泊発電所書いといてください。
2:15:58	はい。以上です。
2:16:39	北海道電力の穴井でございます。1805 ページ以降につきましてもサイトウめの方を記載したいところでもあります。
2:16:49	聞いときます他のところにも、例えば 343 ページの軌跡解析結果とか、向こう、ここの中バーツと、最初の方が何か隣のページで見たら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:59	この辺だなんてわかるんですけど、後ろの方に行くと何か発電所ってのはそれでどこなんだろうって、ちょっとやっぱ迷っちゃうんですねそこはちょっともうちょっとわかりやすいようにしていただけたらと思ってますとともにあと、
2:17:12	それはもうそれだけではいいですかね。
2:17:15	横野アライでございます。
2:17:24	規制庁クマガイです。
2:17:26	今の話の続きですけども資料の、
2:17:30	1-2の343ページのところ、
2:17:33	これ各地点の軌跡解析出てますけど、
2:17:36	ここ
2:17:38	タニグチはフジワラからも話ありますけど
2:17:41	各地点の、
2:17:43	基線のですね色の、
2:17:45	凡例とかもですね付けてもらえると、どこの時点のものが動いているのかはちょっとかぶっちゃってるようなところもあるんですが、判例あると、多少は見やすくなるかなと思いましたが、
2:17:56	確認できるようにお願いいたします。北海道電力の荒井でございます。地点名それから漁港それから各種色、凡例、こちらの方、記載させていただきたいと考えてございます。以上です。
2:18:10	はい。
2:18:11	はい、規制庁クマガイでございます。
2:18:14	あと、次は
2:18:16	363ページの、
2:18:20	抽出範囲の線設定のところ、
2:18:23	評価ですけども、
2:18:26	36条の下の方でき、評価対象地点を地点13と。
2:18:31	地点2地点3地点4というふうに、
2:18:33	限定されてるんですけども、
2:18:36	これ8.234
2:18:40	は当発電所に向かう軌跡が見受けられたと。
2:18:45	いうふうには書いてはいるんですが、
2:18:50	パッと
2:18:52	オオバテ損傷なしケースでは、
2:18:55	まさにそういったものなのかもしれないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:59	結構、他のものを見たり見たりするとですね、よくその、
2:19:03	362 ページとか見る先ほどあの、
2:19:07	エザキとかからも話ありましたけど、
2:19:09	8.1 とかですねそういったところも、
2:19:13	結構発電所の方向に向かっているように、
2:19:15	見受けられるようなところもありまして、1.234 だけになんか限定し、
2:19:20	定性的に限定しているように見えてしまうので、
2:19:24	限定をしている四方についてはですね。
2:19:28	より何か、
2:19:31	比嘉空。
2:19:32	してわかるようなですね、
2:19:35	定量的なものがもしできればいいですよなんかをもうちょっと整理し、
2:19:40	してもらえればいいと思うんですが、
2:19:43	ちょっとより細かくですね、具体的に、
2:19:47	確かにこれだけを限定して評価しておけば大丈夫だなというような、
2:19:51	考え方をですね、整理していただき、整理していただくようにして、
2:19:55	示していた説明してもらえればと思いますが、いかがでしょうか。
2:20:00	他の電力の荒井でございます。1.234 を抽出した理由ですね、その例の理由、他の地点のとの比較。
2:20:10	につきましても記載させていただきまして、それをもって、1.234 を抽出した、選定した理由ですね、こちらの方記載充実させていただきたいと考えてございます。以上です。
2:20:22	はい、イセ成城クマガイです。
2:20:24	あとそれとここでアノ一隣合う。
2:20:27	ちなみには分を、
2:20:33	364 ページですか、移動量についてはニワ分を、
2:20:37	足し合わせて評価しているということなんですけど。
2:20:40	隣り合う。
2:20:41	押し波の、
2:20:43	一つの波の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:44	抽出の考え方みたいなのはですね。
2:20:48	どっかあれば、
2:20:49	記載があれば教えてください説明をお願いします。
2:20:59	北海道電力の新井でございます。こちらの一つの波の抽出としましてはアノは、敷地方法んに流速が向いてる。
2:21:10	所。
2:21:11	を抽出してございます。敷地方向例えば、今の記載だと、第2.5. 19 図、
2:21:19	ページ番号 375 ページの方をお願いいたします。
2:21:29	こちらの方で衛藤 1 津波としましては、衛藤、この三つ、今、グラフといいますかは下が並んでいると思いますがこの真ん中でのですね、敷地方向の流速、
2:21:43	こちらの方がプラスの方向に働いているもの。
2:21:47	これを一区切りにして一つの波として、
2:21:52	算出してございます。
2:21:55	規制庁古川です。
2:21:57	このページなんか見ると、
2:21:59	④と⑤なんかは、
2:22:02	麻痺、
2:22:04	一瞬だけ。
2:22:06	ちょっと向きが。
2:22:08	抑えられてるのかもしれないんですが、別に反対方向に向けて向いてるわけでもなくて、
2:22:15	もう続い一つの波と見ても、おかしいものではないのかなと思うんですね。というのもその、
2:22:22	例えばその、
2:22:23	例えば引き波の
2:22:27	基準津波の引き波のときの考え方なんかでと。
2:22:30	一瞬だけちょっと。
2:22:34	波がですね話相違が、
2:22:37	スパイラル的にイシューは下がったようなものについては除外するみたいな考え方も示されてたかと思うんですが、
2:22:44	この時のその波の考え方っていうのをどういうふうにしてるのかっていうのは、
2:22:50	そこはちょっと整理をした上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:52	ご説明いただきたいと思いますので、それについては、記載の方をお願いいたします。
2:23:00	北海道電力の荒井でございます。誤植で廃止をいたしますとまず波の一つの区切りとしてそれがA棟、
2:23:09	一つの波として判断して良いのか。
2:23:12	先ほど、
2:23:14	小野衛藤。
2:23:16	コメントとしてございましたがこの波をどのタイミングでどの波すべて入れるかを含めまして、改めて整理した上でお示ししたいと考えてございます。以上です。
2:23:30	規制庁クマガイです。はい。
2:23:32	お答えをお願いします。
2:23:34	あとは、ちょっと飛んでですね
2:23:38	394 ページのところ、
2:23:42	お願いします。
2:23:47	こちらについてはその 394 から、
2:23:50	390
2:23:54	8 ページのところぐらいまで、
2:23:58	それぞれのですね、
2:24:01	個別の事例についてそれ全部、個別に羅列して記載されてるんです。
2:24:07	こちらの、
2:24:09	のフジワラとかからもコメントありました通りですね。
2:24:14	ちょっと考え方をもうちょっと整理して、
2:24:17	した上でですね記載についてもちょっと整理していただきたいなと。
2:24:20	資料 1 の一井の方でもですね結構そのRC造の
2:24:26	建屋と木造の建屋と鉄骨造だけを使って、
2:24:30	分類分けして表示してご説明されたと思うんですが、このまとめ資料見ると、全部
2:24:38	分類もなくですね、
2:24:40	全部、
2:24:41	ズラズラと記載されていてちょっとどういう考え方でそういう分けてるのかってのは見づらい状況になってます。
2:24:47	比較表の方をちょっと見てさしてもらったらですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:53	島根なんかについては、分類してですね、整理して記載しているようなところもありますので、
2:24:59	ちょっとそこら辺のやつも、ご覧になってるのかと思うんですけども、
2:25:04	ちょっと記載ぶりについて
2:25:07	北海道電力の考え方が、
2:25:09	よりわかりやすいようなですね、記載ぶりにしていただいて、ご説明いただければと思います。
2:25:19	はい。お願い。いかがでしょうか。北海道電力の穴井でございます。分類につきましては今現状すべての評価対象設備について江藤順を追って記載している状況でございますが、
2:25:33	江藤先行プラントの分類分けを参考にしながらですね、例えば例えばなら建屋、車両の車両という形で分類した上で、江藤、
2:25:43	再整理した上で本示しさせていただきたいと考えてございます。以上です。
2:25:49	はい、規制庁熊谷です。すべての対象について網羅的に記載されているのは、大変
2:25:55	確認できるので、それは、
2:25:57	2点かと思っておりますので、
2:25:59	それを分離できるようにしていただくということと、あと、
2:26:03	ちょっともう、細かい点だと車両とかっていうのは、ナンバー24として等、
2:26:09	今、
2:26:11	記載が、
2:26:15	記載をしていく。
2:26:22	そうですね。で、
2:26:24	記載していただいているんですけど。
2:26:27	車両多数。
2:26:29	幾つか、
2:26:34	不等、種類、種類別にあって複数の車両が、
2:26:38	置いてあるかと思うんですが、
2:26:41	こちらの車両ってのは、だから、置き場所とかっていうのは、何か限定したりとかをされてるんですか、何か。
2:26:47	衛藤。
2:26:48	潜航

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:50	先行のプラントだとですね
2:26:53	保管場所とか駐車場については
2:26:56	包丁での外にはオカ設定しないとかですね、内側に置くようにするとかっていう方針が示されたされるとか、
2:27:03	して、
2:27:04	るんですけど、
2:27:06	北海道電力としては、何かそこら辺何か考え方とか整理されたりします。
2:27:14	北海道電力ではアライでございます。車両の方につきましては現時点、有効ルートそれから駐車場につきましては防潮での区画内の方に整備させていただく方針でございます。
2:27:34	まず、
2:27:35	保管場所はどこにあるか、その防潮での内側にあるのかどうか、それとその防潮店の外側、海側、
2:27:45	に出ていくことはあるのかなのか、であるとしたときはどういうルートを通るとするのか、その頻度は、
2:27:52	どういう頻度なのか、ちょっと明確にしてもらえますか。例えば、どうにもならないものも結構あって、例えば東海大であれば、
2:28:00	巡視パトロール的なものっていうのは、パトロールですから、定期的にルートが決められませんかっていうのは、
2:28:08	東海第2の説明で、そういったものは開発も、
2:28:12	軽自動車に変えますとフジタ呉普通自動車が、軽量化した上で、もうそれは漂流物として、漂流物荷重としてみなしますっていうのが、東海大の一応理屈になってます。
2:28:24	一方で、
2:28:25	柏崎の場合は、あそこ傍聴てないんですけど、いわゆる海に歩ちゃんとして何だ、
2:28:32	うん。
2:28:34	貯留堰ですか、貯留堰にぶつかるとか貯留堰の中に入って水の利用料を下げるとか、そういった通りいいことがないよということも含め、含めてですね検討されていて、
2:28:45	そうで一応あそこは別のす。
2:28:49	TPの3メートル5メートルがちょっと3.5メートルかちょっと忘れちゃいましたけど、護岸部に出ていくことが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:58	駐停車することは、作業用として、
2:29:01	それは避けられないということがあって、そうした場合はいろいろとですね、
2:29:07	窓を開けて、
2:29:09	すぐ沈むようにする、ただ、一般の引き波のときに引き波すぐ長くて強いですから、海に落ちてしまって貯留堰に当たるかもしれない。それで落ちた後にその下、
2:29:21	活動してぶつかるかもしれない。そういう評価としてはしますと、十河町でないので、
2:29:27	貯留堰ぐらいしかないんですけど、ターゲットとしてぶつかるものは、そういった検討もして川島
2:29:33	そういったこと、
2:29:36	防潮等の外に、
2:29:37	出てるものは全く、今までのサイトの中で、
2:29:42	あの表物になっていないってところもないんですよ。
2:29:45	高浜なんかはもう、
2:29:47	もう血を変えて逃げますっていう、対比絶対対比させますっていう、徹底して、
2:29:53	包丁で外に、確か、駐車場があったんですけどそこも全部撤廃しても全部、
2:29:59	タダウチ側の方にも設けるとか、また駐車場を変えたんですよ。
2:30:03	駐車場があったとしてもそれは、基本的には津波警報が鳴ったらば、握れるっていう、退避できる。
2:30:11	ストーリーも全部組み立てていますとす。
2:30:14	そういうような手続きもちゃんととってますっていう話になります。そういった中で
2:30:20	ここの中で、全く表示物としてセキしてないというサイトもあるものの、大体は最近のものに関して言うと、
2:30:28	どうしても安保なんていうんでしょう。
2:30:32	通行ルートが、不定期だったり、必ずしも十分に管理下におけるものではない場合もあり得るので、そうしたものは保守的に荷重としてみなすという、
2:30:44	こともあるので、御社の場合はその辺は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:49	一応、漂流物として活動としては見るという話にはなっているんですけど、これと漂流物としては見るんですか。
2:31:02	北海道電力の荒井でございます。まず、衛藤ナイフを保持するタイプのものにつきましては内部を表示しないようにですね扉等を開いてそちらの方、
2:31:13	漂流物化しないように、
2:31:15	方策をとりたいと考えてございます。
2:31:23	北海道電力の志田です。東海みたいにですねパトロールする車とか、やはりその辺はやっぱ港湾に、の方というか外に出てくる。
2:31:31	この考えられますんで、そこは同じようにですね使う車軽自動車
2:31:35	当たってもいいような、包丁での設計上見込んだ荷重以下になるような車に限定するですとか、そういう運用をした上で、車を、
2:31:46	使っていくっていうのは考えてますあとは、点検車両以外の車とかですと重機とか、いる可能性もありますんでそういったものは
2:31:55	漂流物化しないっていうことを確認した上で使用するですとか、そういったような運用になると思っております以上です。
2:32:02	規制庁だけですわかりました。その辺で、この衝突荷重の話ではないんですが、
2:32:08	共通化中に引き出すための一つの結果として、どっかで整理、
2:32:13	されてるんであればちょっと紹介していただけますか。
2:32:16	されないんだったら、こそこそ、
2:32:19	追求していただければ結構なんですけども、
2:32:26	北海道電力の荒井でございます。今の整理の内容につきましては現時点では詳細に記載してございませんので、ちょっと今後追記させていただきたいと考えてございました。
2:32:36	漂流物の衝突荷重に速やかにつなげるように、
2:32:41	繋ぎの部分をちゃんと作っておいてください。よろしく願います。
2:32:47	規制庁クマガイです。
2:32:48	今の話 404 ページなんかを見ると、
2:32:53	巡視点検車両等については、漂流物になるというような扱いにされていて、
2:32:59	それが重機とかについては、
2:33:01	処理物にならないというふうに整理されているんですがその

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:05	だから、運用とかですわ何かそういう対策ところまでは記載されてませんのでその辺も整理していただければと思ひましてあと383 ページを、
2:33:14	見さしてもらおうと。
2:33:16	結局、車両については
2:33:20	凡例のところに見てみるとですね。
2:33:23	設備設備類に分類されていて、これらはその前、
2:33:28	敷地全体に分布というふうに、
2:33:31	記載されてるんですが、
2:33:33	これも
2:33:34	ハウジョウての内側に駐車場とかを何か整備するとかそういうのがあるんであればですね。
2:33:40	多少そういったのが見えるような記載にさせていただいた方が、理解しやすいのかなと。
2:33:45	思いますので、これの記載ぶりは、ちょっと詳細に丁寧にさせていただければと思ひ
2:33:53	電力の値でございます。承知いたしました383 ページの放射量、今、全体の分布としていますが、衛藤、今後の
2:34:02	運用方法等を踏まえまして記載の方、見直しさせていただきます。以上です。
2:34:08	はい。
2:34:09	規制庁熊谷です。ではちょっとまた別の話ですが460。
2:34:14	5 ページの方を、
2:34:17	ご覧いただきますと、
2:34:19	この調理物に対する取水性の影響評価ということで、
2:34:25	修正性の観点で、
2:34:30	いろいろ確認をされた結果ですね。
2:34:38	修正して、確保に影響を及ぼさないことを確認したというふうに最初のパラグラフで記載されていて、さらに以降で、
2:34:49	では確認したい結果を以下に示すということで、
2:34:56	3 点ほど記載されていて松波が、
2:34:58	こういうしていることから、
2:35:01	到達する可能性は、
2:35:03	低いとして、さらに、
2:35:04	すべてが集積された場合でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:07	隙間なくフクマることはないので、取水口完全閉鎖継続することはないと考えられると。
2:35:13	というのが1点目とあとまた以降で、
2:35:18	表に物を同時に到達することはないだろうというのが2点で、なお書きで、
2:35:26	必要に応じてその漂流物を撤去する方針である。
2:35:30	この
2:35:31	3点から、
2:35:34	海水ポンプの取水は可能であるというふうに、
2:35:38	整理されていて、
2:35:40	処理防止とか不要であるというふうに記載されてこれ
2:35:44	これまでの
2:35:45	この
2:35:47	選考の整理、整理をです踏まえて記載されてるんだと思うんです。ちょっと確認なんですが、これは、
2:35:53	この
2:35:54	主に向こうのこの3点で、
2:35:56	合わせて、
2:35:58	今日リブツ対策が不要であるというふうな、
2:36:00	考え方を、
2:36:02	されてるんで何かこちら辺で優先順位づけとか何か重さが変わったりとかするんですそこから辺は、
2:36:08	どうなんでしょう。最後なんかな動きとかになってるんですけど。
2:36:14	これは必須のものであったりとか、そうではないとか何かあるんですか。
2:36:21	北海道電力の荒井でございます。まず、優先順位としましては上側に記載されてございますまず、漂流物が到達した場合にです
2:36:33	到達した場合の修正コウ全面到達す。まず一つ目です、津波の流向、それから二つ目として増子に前面に集約された場合についても隙間なく整列することは考えにくいと。
2:36:45	それから形状と密着する。
2:36:48	とは考えにくいっていうことを踏まえて、まず海水ポンプの種は可能であると考えてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:55	ただ、ほぼ、さらにですねプラスアルファで、の漂流物、こちらにつきましても広範囲で分散されているっていうことから先ほどの流行とも同じになりますけれども、同時に来ることは考えにくいと。
2:37:10	この部分をメインとしてまず考えてございますが、それに
2:37:15	それをさらに補足する形ですね、仮に津波の来襲した後にですね、そういう所状況が見られた場合につきましては、
2:37:26	除去すると撤去するというところで確実性を
2:37:30	上げていきたいという考えでございます以上です。
2:37:36	規制庁熊谷です。
2:37:38	どうぞ。ご説明の後最後の漂流物を撤去する方針であるってこの、
2:37:43	表、このときの漂流物って、具体的にどんな物の漂流物を、今ご説明いただいと結構大きいものとか小さいものもある中でそういったものを撤去する。
2:37:54	方策みたいなのも何か準備されてるんですか。
2:37:59	他の電力の花井でございます。漂流物につきましては撤去方策については検討中ございまして、現時点ではここまでということは、
2:38:11	決定したものはございません。ただし瓦れき等が、今回漂流物として軽量物が大量に来る可能性があるということからそれらの除去を考えてございます以上です。
2:38:29	はい。規制庁熊谷です。
2:38:31	北海道電力の方針について確認できました。
2:44:51	規制庁の江崎ですからちょっと内部ですね、クマガイの発言の中でちょっと理解できない部分がありましたので、ちょっと
2:44:59	中でちょっと意思疎通を図っていたしましたので、これからまた
2:45:06	質問を再開します。
2:45:10	議長。はい。規制庁熊谷です。ちょっとまた違う。
2:45:15	観点で確認ですけども、
2:45:17	あと資料1-2の、
2:45:19	1782 ページ。
2:45:22	センナ 181 ページで 1000、1700。
2:45:26	71 ページ。
2:45:27	添付資料 35。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:31	の方、ご確認いただければと思いますが、
2:45:36	これ、
2:45:37	むしろ 35 についてはですね、タイトルが、発電所周辺における漁船の操業高校の可能性についてというような、
2:45:47	資料で、
2:45:48	漁船の
2:45:49	操業高校の可能性について、
2:45:51	ご説明いただいて、
2:45:53	てるものだと思いますが、
2:45:58	と。
2:45:59	一番最後センナ 82 ページのですね。
2:46:02	まとめのところだと。
2:46:06	漁船の
2:46:08	検討結果が、
2:46:10	示されていて、
2:46:16	ての、
2:46:17	これはどういった、
2:46:21	この漁船はどういった位置付けの漁船を、
2:46:25	抽出して、
2:46:27	ここで検討されてるのかっていうのが、
2:46:29	あんまりちょっと、
2:46:30	書いとると、まとめの結果がよく、
2:46:33	結びつけられなくて、
2:46:36	この 35 ページっていうのは、
2:46:39	ですけど、
2:46:40	その
2:46:42	取水性、取水口への到達可能性としての漂流物がどういったものなのかっていう趣旨で、
2:46:50	記載をされてるのか。
2:46:52	それとも何か
2:46:55	センナナカ 12 ページのそのまとめの生駒のところを見ると、
2:47:00	オカ、
2:47:01	ショートする。
2:47:02	衝突するかどうかみたいな評価を行うみたいな記載ぶりもあってですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:07	ここはどういった趣旨の強い、
2:47:10	資料として、追記されてるのかと、そこら辺の、
2:47:14	趣旨をご説明いただければと思います。
2:47:18	北海道電力の荒井でございます。衛藤。こちらの資料の趣旨としましてはまず、取水口の閉塞、
2:47:26	淘汰 I I に関する部分を、ありますし、また膨張での衝突荷重を踏まえるといった文がございます。そしてこの中でですねし添付資料 35 の中で、
2:47:38	位置付けてるのが、この漁船ですね、それぞれいか釣り漁船と直近海域とか全面会議とかで漁船がございますけれども、それらの、
2:47:48	不確かさを踏まえた上で、江藤、それから取水性、
2:47:54	ここでは対比ですとかそれから漁船の航行の、
2:48:00	ルートを示したりですかねその中で、不確かさの中で、
2:48:06	取水口に到達するかそれから、取水口の到達した場合膨張で荷重として算出することになり得るかといったものを判断するための資料として構成して、
2:48:18	ございます。以上です。
2:48:22	ございました。はい。
2:48:28	また問いかけ。
2:48:31	規制庁オオクマないですが、
2:48:33	この
2:48:35	最後のページだと結局その
2:48:37	取水口へ到達する可能性についての評価を行ったというのと私がショートする。
2:48:43	として評価を行ったということでそれぞれの評価について行くと。
2:48:47	ということなのですが、結果としてはどういう、
2:48:50	結果になってるんですか。
2:49:09	北海道電力の荒井でございます。
2:49:12	江藤到達する。
2:49:14	結果としましては、直近海域につきましては、農作業線と、また、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:20	それから、先ほど仙頭がですね案内にございますので、そちらの方が、取水口の前面の方に到達すると、それを衝突荷重として見込みますということ、
2:49:32	直近海域の方では整理してございまして、前面海域につきましては、イマイカツラ漁船を想定してございますけれども、その物自体が直接取水口のところまで到達するという事は、
2:49:44	想定してございませんが、仮に津波防護施設にショートする。
2:49:49	ことを想定し、所属荷重としては見込んでいるという結論になってございます。以上です。
2:50:00	規制庁熊谷です。
2:50:02	今おっしゃった内容っていうのは、この資料上はそういうのが読み取れなくて、
2:50:08	結論ってそういうものであれば、きちんとその考え方を記載してもらわないといけないかと思ひますし、
2:50:15	あと、この、
2:50:17	であればもうタイトルもですね、そのようなものにしてもらった方がわかりやすくなるかと思ひます。
2:50:23	元のところで目的についても、
2:50:26	そこら辺は、
2:50:30	北海道電力としての考え方を、
2:50:33	説明する。
2:50:35	趣旨とかですねその考え方をですね、
2:50:38	わかるような形で、
2:50:41	記載してもらえればと思ひます。
2:50:43	いかがですか。
2:51:22	北海道電力の荒井でございます。衛藤ゴトウ、ご指摘の件拝承いたしました。衛藤今野直近海域それから前面海域の船舶の到達の可能性、
2:51:33	またその資料の35の立て付けといいますか、位置付けについて元のところで、最初に明確化に明確に記載した上で修正させていただきます。また、タイトルにつきましてもそれに合わせて修正させていただきます。以上です。
2:51:52	はい、規制庁熊谷です。はい。
2:51:54	趣旨わかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:00	通常ですとよくわかんないけど、添付して 35 は結局、衝突荷重に限定するんですかそれとも被水コウ到達可能性だと、いやふさが ないというところまで、
2:52:13	加えるん、どっちでしたっけ
2:52:21	こちらにつきましてはステップ 35 の中では衝突荷重を適切に設定 するってところがメインとなっておりますのでそこにフォー ーカスした資料として作成したいと考えてございます。
2:52:36	うん、取水をとって言っちゃう。
2:53:05	庁内でちょっと打ち合わせしてます少々お待ちください。
2:56:30	規制庁フジワラです。じゃあ、質疑再開したいと思います。
2:56:36	はい。規制庁中房ですじゃあ、
2:56:41	午前中ですね
2:56:46	江崎の方が、326 ページの話をしてて、
2:56:51	その図をよくわかんなかったんで資料 1 の一井。
2:56:55	先ほど説明に使った、
2:56:58	ズーなんか見ると、
2:57:02	す。
2:57:06	津野市野。すいません、13 ページ。
2:57:11	を見ると、
2:57:13	文章で書いてあるんですけど、今言った、タンクローリーがある わけですよ。
2:57:19	タンクローリーって、
2:57:22	いわゆる、
2:57:23	ゆ、ちょっとでも岩礁とか、転んだりすると油漏れると思います よ。
2:57:29	それに対して、14 ページのこの図を見ると、この高さ関係よくわ かんないんですけど押し波ミイ時でも一カミデも結構高いところ に波が来ていると。
2:57:40	で波が来て、なおかつある程度流速があれば、
2:57:44	タイヤなんで、転ぶ可能性があるんで、それで守れないかどうか っていうチェックも必要だと思いますんで、そこら辺の流れの流 れれない以前に、
2:57:55	油の漏れについては、よく考えてくださいねと、その下、その漏 れたやつが火事になって発電所に影響を及ぼさないようにして くださいねっていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:06	趣旨の点を改めています。
2:58:11	うん。
2:58:45	あ、
2:58:47	他の電力の荒井でございます。衛藤金本を積算した車両ですねタンクローリーこちらが転倒なり、破損した場合に、油が漏れた。
2:58:57	場合の火災等も、も含めた影響について整理して、
2:59:02	整理させていただきたいと考えてございます。以上です。
2:59:05	すいませんあと、同じ資料の14ページのこのデジタル値が見れないんですね流速の。
2:59:14	津波を受けることが陸側に移動する根拠って、多量酸素の差が大きいからとか、
2:59:21	その数値が読めるようにしといてもらえますどのぐらい流速があるのかというのと道路の高さと津波の高さの関係もわかるように、このパワーポイントを使うときにはそれが必要だと思いますんで、その点もよろしくお願いします。
2:59:38	北海道電力の荒井でございます。衛藤こちら江藤津波のですね箱、それから敷地のポイントの高さ、それからその流速、こちらの筈ですね。
2:59:49	を踏まえましてそれを加えた上で資料の方を構成したいと考えてございます以上です。
2:59:55	お願いします。
2:59:57	資料1-2の方に行きますと、
3:00:00	す。これ記載の充実だけなんですけど343から300。
3:00:05	62の第2ポツ5-19図なんですけど、これ発電所分かんないんで、特にですね、発電所の近傍ですね。
3:00:17	15とか4とか3とかに、ここら辺は拡大図作ってください。
3:00:23	江崎も言った、茶筒のですね李漁港とかそこら辺一番発電所付近のユフその波の動きっていうのが、
3:00:34	軌跡がわからないんでわかるようにしてください。
3:00:40	北海道電力の荒井でございます。衛藤現状2.5点の19図につきましては、全範囲を網羅する形で記載させていただいてございましたけれども、発電所のところをピックアップした上、また、国道の、
3:00:54	してですねこちらの方を明記した上で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:57	図のほう追加させていただきたいと考えてございます。以上です。はいよろしく申し上げます。363 ページ。
3:01:06	検討対象施設設備の抽出範囲の設定で上から 5 行、五行メーカー。
3:01:15	ぐらいに、添付資料 37 の第 19 中に示す通りってあるんですけど、これ見てもですね、最大流速の位置とか最大水位の位置とか、
3:01:29	最大水位の高さが具体的に書いてないんですね。
3:01:33	ただこの済みで感覚的に見ろって言ってるんだったらちょっと、
3:01:37	何とかして欲しいなとわかるように、
3:01:40	値を変えてもらいたいと思います。
3:01:43	その点はよろしいでしょうか。
3:01:50	北海道電力の荒井でございます。承知いたしました。ここの添付 37 の第 9 図で示してございますのは
3:02:00	基本管から約 9 分から、津波が、
3:02:04	きて 22 分という数字を示して 55 分以降は収束傾向を示すと、この
3:02:11	30 何第 9 図を分ごとに見とってたところで 10 分から 70 分の範囲を対し検討対象とする。
3:02:22	中身でカセ、記載さしてござきたしてございましたが、こちらにつきましても数値等を入れた上で
3:02:30	再度、
3:02:31	提示したいと考えてございます。特にですね 22 分程度で最大推移を示して書いてあるんで、この最大水準がわかるようにすればよろしいかと思えますんで、
3:02:42	そう、そこはよろしく申し上げます。
3:02:45	北海道電力の荒井でございます。承知いたしました。
3:02:51	同じく 363 ページで、
3:02:56	下から
3:03:00	10 分。
3:03:02	それから、16 から 14 行目で、また安全側の想定市として引き波による反対保護の流れを考慮せずどん隣り合う押し波、ミイ成分が最大流速で行って保温、
3:03:16	流れるものとして評価した。
3:03:19	この評価って安全側なんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:22	よくわかんないんですけど、疋田ミヤマ考えないとしても、隣り合うちなみにセブンっていうはんだとなりあるっていうのは、波によって違ってくるはずなんで、
3:03:34	この過程っていうのは本当安全側の仮定かわかんなかったんですけど、この点はいかがでしょうか。
3:03:43	北海道電力の荒井でございます。この点につきましてはやはり引き波成分についての反対方法の流れを考慮しないというところで、それを挟んだ隣り合う2羽分という意味。
3:03:57	衛藤その隣り合う2は、
3:04:00	を加え、加算した上で引き波成分を考慮しないという意味で安全側として設定させて、
3:04:08	いただいている状況でございます。ただ、しかしながら先ほど衛藤ご指摘あった通り保守的ですね、この2羽分の妥当性は、前前はといたしますか、全部農地並みの
3:04:22	移動量を加算するなど、その補正については整理した上でご説明させていただきます。
3:04:30	以上ですよろしく申し上げます。
3:04:32	364 ページ、次、同じ資料の1-2 なんですけどこん中で、
3:04:41	今図版は、
3:04:45	何だ。
3:04:46	5 の一つ、21 図が 19 ズー呉だということなんですけど、この 19 図の 1-4 を見ると、
3:04:57	図がすごい不鮮明なんですわね。
3:05:00	縦軸横軸が何を示してるるか。
3:05:05	わかんないんですけど、
3:05:07	右、水がにじんじゃって、
3:05:10	これわかりやすくして欲しいと思います。
3:05:14	この 19 図の作成方法、継続時間と流速な考え方。
3:05:21	についてもう少し具体的にこれが、
3:05:24	安全側の仮定なのか、なんでこの赤い線がこっから引いてるのかとか、
3:05:30	何か根拠がわかんないまま、どういう基準で引いてるのかわかんないんで、それも説明加えていただけませんか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:40	北海道電力の荒井でございます図が不鮮明でありましたこと大変申し訳ございません。こちら、2-5、今の規制だと19図でございますが、上から水位、それから真ん中、市、
3:05:55	敷地方向の流速、それから一番下が絶対流速になってございます。こちら見えるように、図の方を差し替えさせていただきます。また、こちらのですね①②③と書かれた赤枠の部分の内容につきましては、真ん中の敷地方向の流速ですね、敷地方向の流速が、
3:06:15	線方向に向いてる部分で区切ってございます。
3:06:18	こちらにつきましてもどのような根拠で、エリアといいますか赤枠の対象範囲を設定したか、明確化させたいと考えてございます。以上です。
3:06:33	よろしく申し上げます。
3:06:34	次は、400ページなんですけど、
3:06:41	忘れまして。
3:06:44	400ページイデはですね、発電所敷地内における人工構造物の調査なんですけど、これでナンバー3-3を
3:06:54	放水コウモニタリング建屋と、
3:06:57	5番の残留塩素建屋、7番のモニタリング局舎ってあるんですけど、これ撤去しないということなんですけど、
3:07:06	これっていうのは、
3:07:09	基本的に耐震Cクラスで、
3:07:13	なんですけど、アカイシ1の比重差により、
3:07:17	その費用リブツならないとか、ならないと判断して活動を検討するとしてるんですけど、この
3:07:26	例えば地震動S <sub>s</sub> が加わり、津波波力によって、その壁や柱が破損し、これが、
3:07:36	瓦れきとして、
3:07:39	津波のお題に配合に、
3:07:44	第2版以降に降雨、取水物とか護岸施設には悪影響を与える可能性があるんじゃないかと思います。これすごい近いんですよもうナガエババ付近に、
3:07:55	そのは離れてるわけじゃないので、ほぼ敷地の中に入ってるっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:00	だけの話なんでこの点について何にも、活動だけでいいんでしょうかっていう懸念があるんで、
3:08:07	撤去してくれるのだったらいいんですけど、
3:08:09	撤去しないで残ってるならばそういう検討も必要だと思うんですけど。
3:08:13	この点いかがでしょうか。
3:08:20	北海道電力の荒井でございます。こちらにつきましては現状漂流、比重の関係から漂流しない、活動につきましても、
3:08:31	活動につきましても稼働するものの基礎、直接基礎であることから活動しにくいと考えられると、整理してございますが、
3:08:39	ただ地震やまた津波波力によって細分化されて、瓦れきかといいますかガラッですね、そちらにつきましては比重は重いのですが、それが話し取水口の方にどうするか。
3:08:53	どうかっていう部分につきましては改めて整理したいと考えてございます。以上です。はい。ちょっと考えてみない。
3:09:01	活動しにくいって話があったんですけど、高間の例で活動しにくいって話だったんだから、あって、
3:09:07	確か作業部だったと思うんですけど、そこに関しては、じゃあ、宗木曾。
3:09:13	からいって、いわゆる
3:09:16	いわゆる重さと、その二つ力で本当進めるか進めないかという検討はしてくださいってということで、一応検討してもらってます。
3:09:25	例えば完全に杭基礎だとか言っただけかなり練りがすごく深くて、
3:09:30	受けそうないんであればちょっと多少杭基礎だっていう定性的なものでもいいと思うんですけど、直接基礎であればそう。
3:09:36	実際は圧がこれから求まるじゃないですか。その発注に対して、
3:09:41	基本的に
3:09:43	10、建物の重量と下の低迷の
3:09:47	基礎部の摩擦力です。十分抵抗性があるので活動しませんって。
3:09:53	必ず言ってます。いわゆる、
3:09:56	滑らない活動させないって話であれば、あとは転倒し要は壊れないって話があるんであれば、基本的には、実際に壊れないかどうか。
3:10:07	9
3:10:08	簡単な計算ですけど、計算はしてるはずですよ。各社、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:12	それはやっぱり、定性的な話じゃなくて、エビデンスは必要になりますよと。
3:10:18	あと一方で、被災状況を見て、イワマどぶだとか、そういったところでは壊れてしまって、
3:10:26	ほとんどそういうところが壊れてしまえば、その部分的な破損だけで、建物そのものが壊れないというような、そういう被災事例が、その類似類似するものとして
3:10:37	あって、壊れないって言うてるサイトもあります特に女川なんかは非常に、
3:10:43	実際に被災したサイトでもあるし、そのオザワの宗町、町とかのあたりでたくさん被災例がありますからそれと、類似性とか見ました上で、
3:10:52	部分的な破損なのかで済むのかどうかという説明はしてます。
3:10:57	そういったことも含めた上で、何をもって、
3:11:02	に漂流物として外すのかをよく考えていただいて、何か体制があって壊れませんといったときにはその体制があることを説明しなきゃいけないってことだけは理解してください。
3:11:17	北海道電力の荒井でございます。ご指摘の件は拝承いたしました。
3:11:21	ご指摘いただいた内容を踏まえまして引き算の方を検討したいと考えてございます。以上です。
3:11:31	規制庁中瀬です。続いて、
3:11:34	資料1ー2の107、すいません。2758 ページで、
3:11:41	両括弧2の調査方法で、
3:11:45	に国道225が通ってる、発電小付近500メートルの範囲。
3:11:53	の位置図を示して500メートル範囲で、
3:11:56	漂流物のチェックをしてるんですけど、例えば堀株川なんてもっと取ってもいいんじゃないか。
3:12:03	いわゆる500メートルにした根拠っていうのは、ちゃんとまとめたことが必要だと思うんですけどこの点はいかがでしょう。いかがでしょう。
3:12:16	北海道電力の荒井でございます。こちら500メートルとした設定根拠につきましては、まず先行プラントさんの実績を踏まえまして設定してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:26	ただ、500メートル範囲外につきましてもこの国道229号線の定点カセ通踏まえまして、それ以外のそのタカオの敷地外、敷地外といえますか500メートル範囲外ですね。
3:12:38	こちらのルート等を踏まえまして、
3:12:42	例えば札幌ポータルの方から泊側に振るものそれから須川から泊側に来るもの、これらのルートはすべて国道229号線を走行する必要がございますので、
3:12:54	こちら、500メートル範囲外につきましても、ここの229号線の今回設定した、500メートル範囲の予定で観察を行うことで、網羅していると考えてございます。以上です。
3:13:07	わかりました。
3:13:11	だから、他の
3:13:14	ほとんどの車両は2機を通るという前提だということなんですね。
3:13:19	北海道電力の荒井でございます。ご指摘の通りこの範囲につきましましては主なルートがこの積丹半島海側の国道229号線を走行することになる。
3:13:33	という趣旨でございます以上です。
3:13:38	ました。
3:13:45	次に、同じく資料1の
3:13:48	1782
3:13:51	さっきのさ、ウタ1100782なんですけど、
3:13:59	先ほどから殊、19.8トン以下釣銭も対象に含むって書いてあるんですけど、1780ページを見ると、
3:14:11	黄色の線から外の青の線。
3:14:16	これって、この線の中に19.8、そういう19.8トンの船が入ることはできるんですよね。
3:14:23	ていうのをちょっと確認したかったんですけど、赤いところは当然入らないし、
3:14:30	周辺会議500メートル以外のところの、
3:14:34	ところ、
3:14:36	100、1780ページの、この黄色から、
3:14:41	オオノ、
3:14:42	線の範囲この三角のとか四角の台形のところって、いか釣り線は入れれるんですよね。通らないってということではないですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:14:51	ということなんですけどいかがでしょうか。
3:14:56	北海道電力の荒井でございます。衛藤。
3:15:00	まず漁業漁業と言いますかこのコウ。
3:15:04	この範囲につきまして、いか釣り漁船が通れないといった制限は ございません。ただ、しかしながらイカ釣り漁船の漁場、
3:15:14	ですねそちらに向かう航行ルートですとか、イカ釣り漁船が仮に 漁場にいる際にですね、津波発生時にの沖合逃げるルート、
3:15:24	こちらの資料添付資料 35 番の方で示してございますが、その範囲 の中で、ここの泊発電所ですね営業禁止区域の付近のこの青枠 の部分、
3:15:36	2 a コウコウしないということを整理してございます。
3:15:40	すいません。
3:15:41	絶対通らないっていう、いう話でなければ、
3:15:46	やっぱり通るということも毎日通るということも想定して、さっ き言った 19.8 トンもちゃんと
3:15:56	施設護岸や取水性に影響するかっていうのは今後、
3:16:00	検討するということなんで、それも入ってるかっていうのを確認 したかったんですけどよろしいでしょうか。
3:16:07	北海道電力の荒井でございます。今ご説明させていただいた内容 もございますが、衛藤、確かにおっしゃられる通りここ区域、
3:16:18	通っていけない、通ることができないという制限がかかっている 場所ではございませんので、こちらの前面海域につきましても、 到達する可能性等の評価、
3:16:29	もうちょっと再度検討させていただきたいと考えてございます。
3:16:33	わかりましたよろしく申し上げます。
3:16:36	あと
3:16:38	200、
3:16:40	2885 ページ。
3:16:45	を見ますと、これ一と添付資料 41 位なんですけど、
3:16:50	いわゆる、
3:16:51	図 4-3 の図、15 分、
3:16:56	2909 ページ、第 44-16 分 2910 ページとか見ると、
3:17:06	500 メーター付近近傍に流速ベクトルん。
3:17:11	があって、これ、何ぼとか、施設護岸に向かって連続的に結構あ りますよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:20	いわゆる無なんぼの近くに流速は向かってますよね。
3:17:25	ここら辺も踏まえて、
3:17:29	さっきのやつでリュ連続的ではないと書いてあったんで、
3:17:35	その連続的ではないという根拠はどっから持ってこられたのかなというのを確認したかっただけなんですけど、その点いかがでしょうか。
3:17:48	北海道電力の荒井でございます。衛藤、今現時点の整理してたと厚労ですと、添付資料 35 に示させていただいた通り、
3:17:59	示させていただいてございますが、いか釣り漁船等ではなくてですねえと 500 メートル以内としましては堀株コウノ漁船の方、それ以外につきましては航行ルート、それから漁船の退避ルート、
3:18:12	そして衛藤直近会議のところでは、
3:18:18	このエリアですね連続してる海域についてエリアについては航行しないというふうに整理してございました。今、東西の方に向けられているというところで、その可能性がある部分としましては堀株コウノ定置網、
3:18:33	両方の漁船を対象としておりまして、そのエリアですね、エリアの漁船につきまして、判定してございます。それが堀株呉は鳥居泊発電所のこの図ですと最
3:18:48	発電所の右下部分になりますが、こちらの方の流向流速の方を見て判断して東西の方向、
3:18:57	に向いてることから、行政の方は到達しないと判断してございます。以上です。
3:19:02	いや、そうすると、例えば、
3:19:05	2909 のページ、15 分を見ると、さっき言った、
3:19:11	100、1782 ページで言う、青と、
3:19:19	黄色の囲った部分の流速ベクトルが大きくてそれが 19.8 トンの比嘉釣線が通ることは否定できない、要は取っちゃいけないって言ってないんで、
3:19:29	こういう万が一、こういうのが来れば、当然、
3:19:33	コウ呉何ぼとか、
3:19:35	コガに当たる可能性がありますねっていうのを確認したかったんですけど、この点はいかがでしょう。
3:19:45	北海道電力の荒井でございます。衛藤。
3:19:50	おっしゃられる通り、先ほどのですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:53	預金Cエリア、
3:19:56	の外側にある青枠の部分等を航行することを考えますと、おっしゃられる通り流速の方を向いてる方向もあるかとございます。
3:20:07	これらにつきましては改めてですね流向流速の方整理した上で、ショートする可能性があるかどうかということ判断させていただきたいと考えてございます。以上です。よろしくお願いいたしますもう一度
3:20:20	流向流速ベクトルの流れをよく
3:20:24	再検討していただいて、確認していただければと思います。
3:20:29	で、
3:20:30	この点はですね資料1の465、467に書いてある、結論みたいな話ですね。
3:20:42	これと矛盾しないように、
3:20:44	していただきたいなど。
3:20:47	いわゆる465では、
3:20:50	なお書きの真ん中辺り、家の
3:20:54	漂流物による取水性への影響はなく、
3:20:58	検討対象構造物の留分漂流防止対策は不要であるっていう明確に結論書いてあるんで、それ違うよね。
3:21:09	ていう、これ、検討してね。
3:21:11	というのと、480、47%467ページに書いてある、第2、
3:21:21	2ポツ5ポツ23表、
3:21:24	これ膨張てAでは全部、
3:21:27	その4.9トンしか書いてないんですけど、19.8トンも対象になるよねということなんで、
3:21:34	そこら辺の、いろんな資料の流れっていうのはちゃんと整理してくださいねという、
3:21:41	ことですがよろしいでしょうか。
3:21:46	北海道電力の荒井でございます。修正公園の到達の可能性含めましてこれらの漁船関係につきまして、改めて整理した上で記載の方、
3:21:57	資料館で、西高取れるように修正させていただきたいと考えてございます以上です。
3:22:03	土佐様なんですけど、
3:22:07	2887ページから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:10	ある、第3-1とか3-ニイツの、この
3:22:16	龍府宮軌跡解析のところに、
3:22:20	泊発電所ってポツと書いてあるんですけどここをですね、何冒頭を来た方も書いてもらえませんか、ちょっと発電所の
3:22:31	バンとでかい丸で、ちょっと意味離れがわからない。
3:22:35	ですよ。
3:22:39	だから、防波堤をちゃんと書いていただきたいなど。
3:22:44	電力の荒井でございます。申し訳ございません。ページ番号もう一度200、2000、2887。
3:22:53	2888
3:23:00	北海道電力の志田です。
3:23:02	こちらの図にですね防波堤の方をちょっと書けるかどうかちょっとモデルのIIになってますんでちょっと確認して、ます。
3:23:15	いや、損傷あんだったらいいですか。うん。
3:23:25	そうそうそう。はい。で、できるだけ、できるだけ工夫してください。
3:23:36	よろしく申し上げます。
3:23:40	はい。私から以上です。
3:23:58	規制庁タダウチですけども、ちょっと確認なんですけれども、
3:24:06	ちょっともう何度か話が出ている形なんですけど、
3:24:11	場所、
3:24:12	資料の1-1-1の方の、
3:24:17	14ページさっきから話題になってたやつですけども、この
3:24:25	コンター図ですか。
3:24:27	それで、
3:24:29	それともう一つね先ほど来出た資料1-2の362ページの、奇跡の話なんですけどね。
3:24:41	ちなみに国道の3点というのはどういうところを、
3:24:46	取ったんです国道のどのんなんか全然トンネルからトンネルまでの間があるかと思うんですけどどこの地点を取ったんですかね、ちなみに。
3:24:56	北海道電力の荒井でございます。こちら資料1-1-1の14ページの方でご説明させていただきます。1番目の、
3:25:07	ところのコンターツでご説明させていただきますとまず緑色のラインが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:13	確認できるとございます。こちらが国道 229 号線になってございます。で、左上側が茶津トンネルというトンネルになってございまして右下で切れてる部分が堀株トンネルと。
3:25:26	なっております。3 点を抽出した部分につきましては、まずちよ茶津トンネルの入口部。
3:25:33	それから堀株トンネルの入口部。
3:25:37	それからその中間地点、
3:25:39	3 点、抽出してございます。
3:25:42	ちなみに業、ちゃんと漁港のところを取ったのは所漁港のどこら辺なんですかね。
3:25:53	他の電力の荒井でございます。漁港につきましてはこちらの雑トンネルの下側にありまして、
3:26:04	雑の考案があると。
3:26:07	思うんですけど茶津トンネルの下、
3:26:10	の部分、真下部分といった部分ぐらいに、海側があると思うんですけども、側溝ところに茶津漁港がございます。はい、わかりました。
3:26:20	それでねちょっと一つお聞きしたいのが、そうすつとねちゃちゃトンネルの入口到着の漁港のところってさっき江崎からもあった通り数十メートル。
3:26:29	10 メートルわかんないけどしか離れてないわけですよ。
3:26:33	それなのに漁港の方のやつは沖合に出てくるんだけれども、トンネルの方のやつがね、
3:26:39	ほぼ動かないっていうのは、何かここは何か、どうして漁港の方のやつが海の方に、
3:26:48	流れていくのかってのは何か考察あります。
3:26:52	ほぼ 1 が近いんだけどこんなに差が出てしまうっていうな、何かあるんですなんか。
3:26:56	条件とか、現象としてこういうことがあるから、
3:27:00	何かここ、ここのやつは出ていかない、ここの領域に入ると出てっちゃうみたいなものって何か、
3:27:07	あるんですかねこういう、これ自体が、参考になるものなのかもしれない程度なのかもしれないんだけど少なくとも何かこの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:17	ちょっとの差で大きな違いが出てるのは何、何か理由があるんですか。
3:27:22	北海道電力の荒井でございます。衛藤茶津漁港のところに一番近い国道の抽出ポイントでございます。谷津トンネルのところのポイントでございます。こちら、コンター図数を見ますと、1番目が到達した後に、遡上していく段階で、
3:27:39	若干陸側に行ってるコンターが、
3:27:42	硫安にいつてるのが確認できると思います。こちらじアマンノ地形になってございます。背面国道背面海側から見て国道の背面ジラムになってございまして、
3:27:53	こちらの事案部分コウ凸部がございます。茶Ⅱのトンネルのところで
3:28:01	津波を受けた、
3:28:03	タンクローリーを想定しますが、タンクローリーにつきましてはまず一旦車来、凹凸分、
3:28:09	の方に押し込まれていくような軌跡が確認されてございます。そのあと引き波に転じますが引き波につきましてはこちらの地あま分を経ないで茶津側茶津横尾側から、
3:28:24	経由して、沖合に出ていくという流れが発生してございます。なのでこの事案スポーツにつきましては、流速が非常に小さい状況になってると。
3:28:35	そのため、ちゃんと漁港につきましては流速が発生していることから、沖合に流された。ただ、そのアノ時アマンノスポットに収まったトラックトラックといえますかタンクローリーにつきましては流速を、
3:28:50	流速を受けないため、その場にとどまったと考察してございます。以上です。
3:28:56	聞いてウタダですわかりましたそうすると。
3:28:59	ここの字アマンノこの2番目の真ん中の図の上がちょっと飛び出るスポットに入れば、
3:29:07	沖合に出てかないってことになる。
3:29:12	いいですか。
3:29:15	北海道電力の荒井でございます。そのように考えてございます。また中間地点、
3:29:21	につきましては逆にですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:25	二つトンネルの入口については、その通りでございます。
3:29:30	はい。そうすると、漁港の方のやつはこのスポットには入ってこないっていうことになってるわけですか。
3:29:38	北海道電力の荒井でございます。漁港のスポットのところではこの
3:29:43	スポ漁港の開始位置からこのスポットについては、入って、
3:29:50	規制解析上は行ってございません。
3:29:53	はい。わかりましたそうするとスポットの手前辺りで滞留していると沖合に行くっていうそういうような認識でいいですかね。
3:30:01	他の電力の荒井でございますその通りでございます。わかりました仮にここら辺に対立するような条件が発生してしまうと、沖合に出ていく可能性が否定できなくなるってそういうことでよろしいですか。
3:30:16	電力の荒井でございます。そのように考察しております。
3:30:19	仮にですよこれトンネルの方の影響って何か検討してます。
3:30:24	トンネルの方に少し流入していて、奥川の方に行くのが緩和されて、要は移行速度がトラックが、少し遅くなります時間遅れが生ずるって話になっちゃうと、
3:30:38	このスポットに入らない条件が出てきたりってところの検討って何かされてますか。そうなるよね。
3:30:45	これ自体がどのくらい、当てにしていいかどうかはまた別途検討考察は必要だとは思うんだけど、ちょっとそうした違いだけでね。
3:30:54	沖合に流れる流れないってすごい変わってくるんだと思うんですよ。そうすると、
3:30:59	いやこの基線だけでね、大丈夫です大丈夫じゃないなんて、こういうような話からもね、ちょっとした不確かさっていうかわかんないんだけどもそういったところからも、
3:31:11	あまりいい個々のものがこっち道路側のものが絶対、絶対ツガネ流れていかないんですって話にもならないんじゃないかなって気もするんですけどね。
3:31:21	ちょっとそこら辺は、大体ここら辺の流れ例としてはこの辺のスポットやジャズの谷の方の方に入ってしまうえば、現場で出ていかないけど、このスポットに入らないこのエリア、漁港付近の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	エリアに滞留してしまうともう沖合に出ていってしまうということは、
3:31:39	私のちょっと理解しました。はい。
3:32:22	ちょっと今規制庁内で打ち合わせ中です少々お待ちください。
3:34:53	はい。規制庁内の打ち合わせ終わりました。
3:34:57	ちょっと今ふと思ったんですけど 1771 ページの、
3:35:02	そもそもこの添付資料 35 っていうのは、実機ん海域ですかね、500 メーター以内。
3:35:12	に椅子なんか、
3:35:14	漁船とか来ないか、初期位置、
3:35:17	の話が確か。うん。
3:35:19	あってよくウエダこの添付資料 35 っていうのは、いや、1 初期の段階は第一波が来る前の段階において、操業してる船がないかとかいうのが確か整理されてて、
3:35:31	もちろん操業については
3:35:34	岩礁地帯とかあるから、そもそも入らないですよとか、いうところで、第 1 本時計なんか確かにそうだなっていうちょっと印象がありますちょっと基準津波が決まる前は確かに、
3:35:46	うん、そうだったような思いもあって、
3:35:49	今、金津波の波源っていうのが概ね決まりつつある中で、結構何%がたくさん来るような状況が、
3:35:57	悪う中でこの初期位置っていうものの考え方ですかね。
3:36:02	っていうのはこれわあなんか、どういうふうにお考えになってるかって何かありますか。この辺。
3:37:10	北海道電力の荒井でございます。初期位置につきましてはもともとの行の初期のポイントで設定してございますが、第 2 は第 3 パターン 4 本につきましては軌跡解析の中ではアノ波として、奇跡の中で入れてございますが、
3:37:28	実際に、第 2 は、がいるタイミングでどのポイントにいるかっていうところまでは、今は想定していない状況でございます。
3:37:37	ただ、いか釣り漁船につきましても、津波警報等が発令された場合につきましてはガイド等に従いまして沖合に退避するということが考えられますので、
3:37:47	そちらの方で津波到達前には沖合の方に退避しているものと考えてございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:37:54	はい規制庁藤原ですが、ちょっともうちょっと添付して 35 ですかね、その辺質問や実験会計の、
3:38:01	初期位置との関係でもうちょっと何かロジックをちょっと整理した方がいいように思いますが、いかがですかね。
3:38:11	北海道電力の荒井でございます。承知いたしました初期位置と、事前の今は形ですね、筧といいますか、津波の特性、こちらにつきまして、ロジック立てをして資料、
3:38:23	添付資料 35 の方へ見直したいと考えてございます。以上です。
3:38:28	はい。通す。まず、会議室側、よろしいですか。はい。
3:38:33	ウェブで 3 課の方でこの件について何かフクイございますでしょうか。
3:38:44	ですかね。はい。そしたら、通常だと今日コメント継続加療かを確認するところではありますけども、今日ちょっと中身について何かまだまだ、
3:38:54	ちょっとパワポ資料もうなくて、比嘉顧問、
3:38:59	ヒアリング回答の良否をちょっと通る段階ではちょっとないような気もしますので、ちょっと今回この人達を延期させてもらってますんで、また次回改めてヒアリングとしてやっていきたいと思えます。
3:39:11	本日のコメントの内容について回答整理しますので、一旦文字起こしを停止いたします。
3:39:20	規制庁千原です今月の事実確認事項について整理しましたので読み上げます。
3:39:28	谷津側の黄緑の軌跡解析結果及び当該評価の不確かさを踏まえると、国道の車両についても漂流物として考慮すべきものとする状況を踏まえ、
3:39:38	国道の車両に関する考え方を再度整理し説明してください。
3:39:43	その次、
3:39:44	代表とする波源の根拠について記載を充実することを具体的には、309 ページにある代表地点プラス周辺海域の浸水深さ、流速発電所に向かってくる。
3:39:54	流行が発生している継続時間を踏まえた移動距離等を指標とした分類でスクリーニングアウトできる波源等を、各遡上域前面海域及び実機ん海域について整理し説明すること。
3:40:07	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:40:08	とその次の漂流物の移動量に間については、発電所側に向かってくる津波の考慮として隣り合う波だけでなく、すべての波を加算した上で評価するなど、逆側の指針コウについては、
3:40:20	考慮しない等の保守性を持った指標で評価することを検討の上、説明すること。
3:40:28	次は航行不能になることを前提としているが、定期検査等の実施状況を踏まえ、航行不能になる可能性について改めて説明すること。
3:40:39	その次行きます衛藤 4.9 トン以下の作業性について、係留等対応可否や退避等退避に関する考え方を整理し、
3:40:50	漂流物の可能性を説明すること。
3:40:53	その次、行行ば、
3:40:57	の範囲について、
3:40:59	北海道等の漁業権等との整合を図られていることの説明すること。
3:41:13	宇津漁港と漁港間の航行ルートの不確かさを踏まえて、評価対象船舶括弧道路教書ベースの評価、括弧閉じの調査結果を整理し、
3:41:25	漂流物衝突荷重だけでなく、取水性の確保として評価すべき施策について説明すること。
3:41:32	次航行中の船舶が漂流し、取水口に到達する可能性を軌跡解析結果のみで結論づけていることについて、先行審査実績学会の動向等を参照の上、改めて説明すること。
3:41:48	はい。その次が、敷地内の木造建屋について、当該建屋の構造を示すなどして、前回に至る過程を整理し説明すること。
3:42:02	はい。その次が、隣にHUBに関して一般分の考え方について整理し説明すること。
3:42:10	その次、車両の保管、
3:42:13	場所及び駐停車場所について明示するとともに、膨張点数とかに事の有無、ある場合は、スト側に行く車両に関する津波時の対応について説明すること。
3:42:24	またこの対応方針についてまとめ資料に反映すること。
3:42:32	その次が、タンクローリーが漂流物化する前に津波で転倒した際の油流出、火災の影響についても整理して説明すること。
3:42:44	その次、ナンバー5、残留総建屋やNo.7 モニタリング。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:42:49	局舎について、活動のみの評価としているが、地震により損壊し瓦れき化する可能性についても検討の上影響について説明すること。
3:43:01	最後、添付資料 35 については第一波の初期位置を設定して評価をしているが、第 2 は以降の書記市岡ゴトウについて整理し説明すること。はい。以上です。は、
3:43:13	今の内容について、規制庁側から追加或いは北海道電力からの改めでの確認等ございますか。
3:43:22	そうですね。はい。
3:43:24	今日のヒアリングについては以上とさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。